

平成29年度（2017年度）

国際教育

地球市民を地域とともに育てよう Part16

報告書



時事問題を教室に

—メディアを主体的に批判的に読み解く力を育てよう—

■講師の紹介



拓殖大学国際学部准教授 石川 一喜さん

東京学芸大学大学院教育学研究科修了後、東和大学国際教育研究所、拓殖大学国際開発教育センター、同国際開発研究所を経て、2015年より現職。2004年より同大学主催「国際開発教育ファシリテーター養成コース」の企画運営を担当。主な共著として、『ケータイの裏側』（コモンズ）、『時事問題学習の理論と実践—国際理解・シティズンシップを育む社会科教育』（学文社）、『教育ファシリテーターになろう！～グローバルな学びを目指した参加型授業』（弘文堂）など。
専門分野：開発教育、ファシリテーション、教育方法論、時事問題学習

午前の部（基礎・理解編）～ “メディアリテラシー”って何？

Session1

① アイスブレイク

- 講師自己紹介
- 導入

Q. 今日は、チラシに書かれていたキーワードのどれに魅かれて参加したか？

（メディアリテラシー／主体性／時事問題／国際情勢）

→ 参加者の回答・ニーズは様々

このテーマで、私が招かれたのは、Global Express（グローバルエクスプレス）のタスクチームに関わっていたことからだと思う。イギリスでEUの助成金を得て行われていた「Global Express」という時事問題学習の取り組みが2003年に日本へ紹介された。これはおもしろいということで、日本でもタスクチームを作ったのがそのはじまり。

Q. では、時事問題を教室にどう取り込むか？

⇒ 時事問題をひも解くためには、メディアリテラシーという力がなければ学べない。

今日のワークショップには、様々なものを詰め込んだので雑多なものと感じられるかもしれないが、いろんなものの点と点が線としてつながって、それが面となるような学びの時間にしたい。

【今日のスケジュール】

セッション1 場づくり 基本的にメディアリテラシーとはなにかの確認

セッション2 情報の受け手として私たちはどうあるべきか

セッション3 情報の発信側として私たちはどう賢くなれるのか

参加者自己紹介「ウソつき自己紹介」

- ・ A4用紙を四分割するように折り目をつくる。
- ・ 4つのマスに自分に関係することを1つずつ記入し、その内のひとつにかならずウソの情報を入れるようにする。

【注意事項】

- 4つすべて思い浮かんでから書く。
- ウソは1つだけ。

- ・ 4～6名のグループで一人ずつ、4つ書き出した項目を使って自己紹介をする。
- ・ 4つの情報のうち、どれがウソだったかを話し合う。

〔全体でシェア〕

Q. 特におもしろかった話は？嘘をつくことに対してどう感じたか？

（参加者からの感想）

- ・ 普段ウソをつかないからモヤモヤした。
- ・ いつも本当のことを言っているのに、ウソが思い浮かばない。
- ・ 罪悪感があった。
- ・ 日常的なものではないものが突如出てくるとウソだとすぐ分かった。等

⇒ 嘘はついてはいけなしつけられてきているので、嘘をつくことに抵抗感を感じる方も多かったかと思う。本当だと思っていることが、そうではないこともあるかもしれない。基本的には嘘はないという前提で社会は成り立っているが、実際には、間違いなく様々な嘘が平然とほうり込まれながら社会が成り立っているというところもあるのではないかな。その点を今回のワークショップでは深く追求していきたいと思う。

② 【基礎】メディアリテラシーとは？

みなさんが本当だと思っていることが、実は嘘だったということもあるのではないかな。本当に物事をちゃんとわかっているのか確かめていこうかと思う。

Q. パスタは何からできている？

→ ほとんどの参加者が「小麦」と回答。

Q. 小麦はどこでできている？

→ 参加者からは、「畑」「大地」と回答。

【ワーク】ウソつき自己紹介			
A. 町内子ども相撲大会優勝		B. リンゴの皮剥き大会 (子どもの部) 1位	
C. 東京マラソン 3回完走		D. 聖火ランナー	

講師による例



〔動画「スパゲッティストーリー」(出典：ビデオ教材『スキヤニング・テレビジョン日本版2』より) 視聴〕



スイスでスパゲッティが木から収穫されるというニュース映像を視聴した。(2分33秒)

これは、1957年にBBCのニュース番組が「暖冬の影響でコクゾウムシ(米食い虫)が減少し、スイスの農家ではスパゲッティが大豊作となった」と放送したもので、エイプリルフールのジョークとして製作されたものだった。

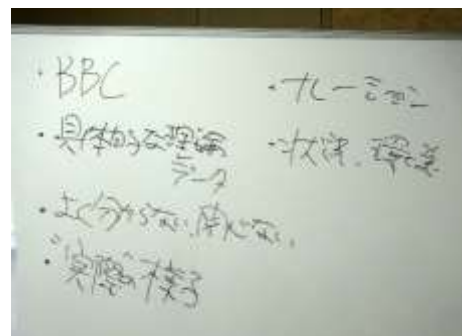
〔グループワーク：話し合い、全体シェア〕

Q. もしこの映像に本当に騙される人がいるならば、なぜだろうか？

(参加者からの意見)

- 権威(BBCという有名なメディア)
- 具体的な理論やデータなどの根拠が提示されていたため。
- パスタについての知識が薄く、関心が欠けていたため。
- “実際(?)”の様子が映し出されていたため。
- 淡々としたナレーションだったため。低音ボイスの落ち着いたトーンの語り口調だったため。
- 状況や環境が影響を及ぼすかもしれない。

⇒ バックに流れている音楽や映し出している景色、カット割り、時間配分など、すべてが計算されている。



Q. 「メディアリテラシー」を端的に定義すると、どのようなものか？

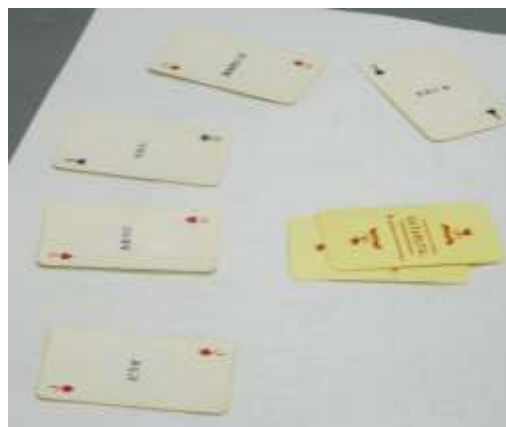
まずは、個人で定義を考え、紙に書く。

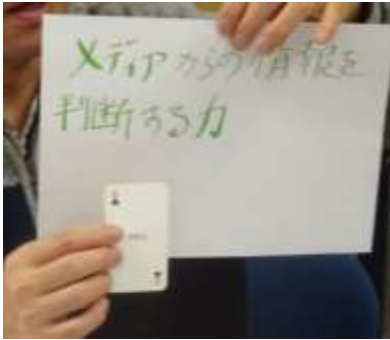
その後、グループ内で順番に考えた定義を発表した後、カタルタを1枚めくり、そこに書かれている接続詞を用いて、自分が定義した理由などを補足して発表していく。

参考：「リテラシー」＝「識字・読み解く力」と訳される

カタルタとは…

「カタルタ」は発想力を高め、コミュニケーションを豊かにするカードセット。1枚にひとつずつ接続詞が書かれている。詳しくは→ <https://kataruta.stores.jp/about/>





(参加者からの意見)

- 情報を正しく批判的に理解して自分自身で判断する力
 - メディアの情報を客観的・批判的に分析する力
 - メディアからの情報を咀嚼し、本当かウソかを見分ける力
- 出されている情報はすべて信じてはいけない。信じるためには、ものすごく勉強しなければならない。

〔講師解説「メディアとは？メディアリテラシーとは？」〕

まず、「批判」と「非難」は全く違う言葉だと押さえておく必要がある。「非難」はネガティブなイメージしか含んでいないが、「批判」という言葉の元々の意味は、良いものと悪いものを分かち、良いものは良い、悪いものは悪いと言ってよいということ。

そして、「どう読み解くか」だけでなく、「どう発信していくか」の双方に焦点を当てた総合的な能力と理解することが大切。

メディア・リテラシーとは？

ひと言で言えば、メディアが形作る「現実」を批判的に（クリティカルに）読み取るとともに、メディアを使って表現していく能力のことである。（中略）メディアの特性や社会的な意味を理解し、メディアが送り出す情報を「構成されたもの」として建設的に「批判」するとともに、自らの考えなどをメディアを使って表現し、社会に向けて効果的にコミュニケーションをはかることでメディア社会と積極的に付き合うための総合的な能力を指す。

◆メディア・リテラシーの基本概念

1. メディアはすべて構成されている
2. メディアは「現実」を構成する
3. オーディエンスがメディアを解釈し、意味をつくり出す
4. メディアは商業的意味を持つ
5. メディアはものの考え方（イデオロギー）や価値観を伝えている
6. メディアは社会的・政治的意味をもつ
7. メディアは独自の様式、芸術性、技法、きまり／約束事をもつ
8. クリティカルにメディアを読むことは、創造性を高め、多様な形態でコミュニケーションをつくり出すことへとつながる

【引用：鈴木みどり編『Study Guide メディア・リテラシー・入門編』】

マーシャル・マクルーハン（メディア論）の言葉

The medium is the message

メディアは“メッセージ”である

Q. カタルタを利用したの話し合いはどうだったか？

(参加者からの意見)

- 自分が端的に言ったことをプラスアルファで皆さんに伝えるように踏み込んで伝えなくてはならなかったので、深い思考が求められたので難しかった。
- ⇒ カタルタを使用しなければ、自分が発信する情報が限られていたかもしれない。
私たちは知らず知らずのうちに、情報の出し惜しみをしている可能性がある。
真実をどんなに伝えようと思っても、それを完全に伝えることは不可能である。カタルタを使う前と後では、その場の状況や雰囲気などが変わり、どういう情報を発信するかということが変わってくるのかもしれない。

Q. 「メディア」と聞いて思い浮かぶものとは？

(参加者からの意見)

- テレビ、ラジオ、ネット、新聞、教室、書籍、看板、映画 等

Q. 「メディア」＝「媒介・仲介するもの」だが、何を仲介しているのか？

メディアとは『人』を媒介するもので、「メディア」と「メディア」を繋ぐのも『人』。
メディア・リテラシーという、メディア自体に焦点を当ててしまいがちだが、実際には、『人そのものがメディア』だと考えられるので、「人がどのように何をどこへ情報発信していくか」ということに目を向けることを忘れてはいけないのではないだろうか。
この点について、午後の時間で深めていく。



午後の部（応用・実践編）～フェイクニュースにふりまわされないために

Session2

午前中は、メディア・リテラシーの基本を押さえた。「メディア・リテラシー」は、読み解く力だけではなく、私たちがどう発信するかも考えなくてはならないということ。そして、私たち一人一人も重要なメディアであるということである。

まずは、私たちが情報をどう扱っていくかを考えていきたい。

① 情報の受け手としての私たち

〔2枚の絵画を見比べてみよう〕

モンタヌス作『日本誌』(1680)とアンベール作『幕末日本絵図』(1870)の絵の比較

(資料提供 印刷博物館)

いずれも日本を欧米の国々に紹介するために描かれた絵。

【比較した絵の作品名】

- ①「武人割腹の様態」と「切腹の場」、②「角力」と「角力の立ち合い」、③「日本人の婚礼」と「結婚式」
- ④「大仏殿」と「五百羅漢寺の内部」、⑤「仏像」と「祈祷を捧げる僧侶たち」



Q. どちらの絵に共感を覚えるか？

(参加者の感想・印象)

→ モンタヌス(左)の方に違和感を感じる。自分の知っているイメージと違うから。

・モンタヌス(左)の方が誇張されていて、アンベール(右)は忠実に再現されている。

・モンタヌス(左)は、古代ローマや宗教画のイメージでヨーロッパナイズされている、アンベール(右)は写実的に描かれている。

Q. この2枚の絵の決定的な違いは？

⇒ モンタヌスは日本に来たことがない。伝聞した情報からイメージして描いたもの。アンベールは実際に日本に来て、自分が見聞きしたものを描いたという違いがある。これらが「事実」として紹介されていった。実際に見たもの聞いたものなのかどうかということで、大きな開きがある。私たちがコミュニケーションの中で使うコンテンツを考えると、実際に見聞きしたことの方が少ない可能性が高い現状の中にもろさがあるのではないかと感じる。

〔扱われないニュース〕 ※ NHK「オイコノミア」を

参考にしてワーク作成

パンダの画像を見て



Q. このパンダの赤ちゃんの名前がわかりますか？

(参加者より)

→ 上野動物園で生まれた「シャンシャン (香香)」

A. 本当にシャンシャンでしょうか？

答えは、「ユイヒン (結浜)」です。

- 東京の赤ちゃんパンダの誕生は5年ぶり。その赤ちゃんもすぐに死んでしまったので、実際には約30年ぶり。一方、和歌山アドベンチャーワールドでは2000年以降、15頭も生まれている。
- 東京の一日のエサ代は11,000円。和歌山では、里山整備として伐採された新鮮な竹を安く仕入れてエサとして与えているのでコストダウンしている。
- 上野動物園のパンダ2頭のレンタル料は年間1億円。パンダを返して、子ども手当を増やそうよと言いたくないか？
- 上野動物園のパンダは税金で、和歌山は税金ではない。

かわいいですね、
パンダの赤ちゃん

ユイヒン (結浜)

✓和歌山県白浜「アドベンチャーワールド」生まれ
✓繁殖実績：2000年以降で、なんと15頭！（上野は5年ぶり5頭目、実質的には約30年ぶり）
✓エサ代は1頭あたり1日に約11,000円（和歌山では里山整備の伐採した孟宗竹を安く提供されている）
✓レンタル料は非公表（上野：2頭で年間95万\$、約1億円！）



⇒ 新たな情報を得ることで、えっと思うことがあったり、見方が変わってくるかもしれない。

Q. シャンシャンは全国的なニュースになる一方、なぜユイヒンはあまり取り上げられないのか？

(参加者からの意見)

→ 東京目線、東京生まれという希少性、中国との友好関係改善のため政治的なプロパガンダに利用されている 等

⇒ キー局と呼ばれる東京にあるマスメディアの人たちの目線でニュースが作られている。だれが発信し、どう構成されているかを考えてほしい。メディアは商業的意味を持つと紹介したが、シャンシャン誕生の経済的効果は、267億4736万円と試算されている。希少性、政治的意味に加え、経済的な意味もあるということ。

Q. どちらのデータを信じるか？

**受動喫煙によって肺ガンの
リスクが1.3倍上昇する**

(国立ガン研究センター 2016年8月発表)

**受動喫煙防止法施行なら
外食、8401億円減収**

(『日経MJ』2017年3月8月号)

各グループで、どちらのデータが気になるか、個人的にどちらが大事な情報かについて話し合う。
(参加者からの意見)

→ どちらも前提となる根拠がいい加減。

もともと外食産業の経済規模などを知らないし、相対的なデータが分からない。

⇒ これらは、記事の見出しだけを
とりだしたもののなので、皆さんは判
断しづらかったと思うが、国立がん
研究センターの方は、複数の研究さ
れたデータをもとにちゃんと受動
喫煙と肺ガンの因果関係を明らか
にしようとしたもの。日経 MJ の方
は、「施行されたらどう思うかとい
う予想」を聞いたもの。読者から、
「ちゃんと調査しろよ」という声が

あがるかもしれないが、そもそも読者がちゃんと読んでいないということになる。

情報をシェアしたり、リツイートしたりするときに、全文最後まで読んでいる人は半分もおらず、多くの方はタイトルだけ見て面白そうと思ってすぐにリツイートしているというコロンビア大学の研究結果がある。仮に、さきほどの見出しだけで情報が発信されると、「外食産業ヤバくない!？」という情報が真実となって伝わっていくことになる。

どちらのデータを信じますか？

国立ガン研究センター発表

『日経MJ』2017年3月8月号

複数の研究を統合し、
受動喫煙と肺ガンの因
果関係を明らかにしよ
うとしたもの

施行されたらどう思う
かという予想を飲食店
に聞いた調査(受動喫煙と
外食産業の売り上げの因果関
係はわからない)

チェリーピッキング



「チェリーピッキング」… 自分に都合のいい情報・心地いい情報だけを取り入れること。

例えば、自分と同じ主張の新聞は読むけど、そうでない新聞はとらない。Amazon で本を買うと、あなたにおすすめの本がどんどん紹介される。自分が好きとされているものの情報だけが集められていく。その情報が強化されていってしまうことになる。

Q. 日本人の5人に4人はタバコを吸っていない。なのに、受動喫煙防止法案が骨抜きにされそうになっているのはなぜか？

法案を作成する立場にある国会議員の喫煙率は日本人平均よりかなり高いと言われている。なかでも、自民党議員の7割弱が愛煙家という状態なので、東京オリンピックは全面禁煙されないオリンピックとしてと歴史に名を刻むことになるかもしれない。

受動喫煙防止法案が骨抜きにされそう...

日本人の喫煙率

18.2% 男 28.2% 女 9.0%

喫煙者数 約1,917万人 ※前年比-110万人

(2017年JT調べ)

「ヒューリスティックバイアス」

… 人間的な感性によるバイアスがかかり、少ない情報、身の回りの情報だけで物事を判断すること。

人の感性というのはとても大事だが、それ同時には操られる可能性がある。私たちは、自分の半径5メートル以内で起こっていることは、自分の中の「事実」となってくる。

ヒューリスティックバイアス

国会議員の喫煙率は日本人平均よりかなり高いと言われている。

【参考!?データ】

自民党議員の7割弱が「たばこ議員連盟」に所属
(主に愛煙家が加盟)

喫煙率の高い国会議員から、「みんな吸ってるぞ」、「そんなに法律を厳しくする必要はあるのか」、「外食産業が心配している」という声が上がると、法案の規制を低くする可能性も出てくる。

欧米では、受動喫煙防止法案と同様の法を施行した後の外食産業の売り上げについて調査した結果、ほぼ同じもしくは増えるといわれている。喫煙しているのはたった2割の人なので、吸わない8割をターゲットにした方がよいからだろう。

情報はだれが作り、だれが発信しているのかによって大きく作用される。また、だれが受け取るのかによって色づけされてしまう。メディアというものの現実は、「構成されていて、色づけされて現実になっていくもの」ということだ。

⇒ 「ニュース的価値」とは、

- ① タイムリーであること
- ② 重要であること (だれにとって?)
- ③ 身近であること
- ④ 議論になること
- ⑤ 奇抜であること

+

メディアの人たちが自己規制と自己防衛を働かせている。「放送禁止用語」というのは、文章化されたものではなく、自分たちで放送しないようにしたもの。また、自己防衛が働き、あえて触れないようにしているものもある。

ニュース的価値

- ① タイムリーであること
- ② 重要であること
- ③ 身近であること
- ④ 議論になること
- ⑤ 奇抜であること

自己規制
と
自己防衛

② 【ワーク】「紙面比べ」「トリミングされた写真の元の姿は？」

● 紙面比べ

2月26日発行の新聞朝刊8紙の一面が、それぞれのグループに各1紙配られた。グループごとに新聞記事を分析し、模造紙に気付いた点を書き込む作業を行った。

使用した新聞： 朝日新聞、京都新聞、産経新聞、中日新聞、東京新聞、
日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞

〔記事の分析〕

- ・ 「新聞記事の分析シート」にまとめる。

≪新聞記事の分析シートの項目≫

記事について

新聞の名称、日付、見出し、報道されている国、報告の情報源、記事の大きさ

■見出しからどんな印象を受けましたか。

■よく使われている言葉や強調されている言葉を書き出してください。

■誰の言葉が引用されていますか。彼らはどこの国の人ですか。

写真について

写真の大きさ、写真の詳細（場所や映っている人など）、

この写真は（当てはまっているものに○を付ける）

近くから撮っている 中位の距離から 遠くからの撮影 高い角度から 低い角度から
女性 男性 子ども 高齢者 市民 運人 日常的 記事を解説している 感情を表している
肖像 ショッキング 面白い 悲しい 感動的 興奮する がっかりする 元気が出る
穏やかだ 美しい オーバーだ

■どういう印象を受けますか

■どうしてこの写真を使ったと思いますか

- ・ 配った新聞のまわりに直接、感じたこと、気が付いたことなどを書き込んでいく。
- ・ あわせて、編集長目線で、なぜこれを一面の記事として取り上げたのかポイントを整理してまとめ、A3の紙に箇条書きする。『我が社ではなぜこのような一面にしたかという』



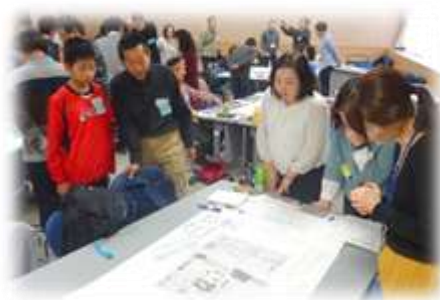
〔他グループの分析を見学〕

自分のグループに戻り、他グループとの比較から気づいた点を模造紙に追記する。

〔全体でシェア〕

（参加者からの感想）

- ・ 東京新聞は、「東京」という言葉のウエイトが大きかった。トップニュースが東京マラソンの記事が取り上げられていて、東京オリンピックに向けての紙面づくりと感じた。
- ・ 京都新聞は国際問題はあまり取り上げられておらず、ローカルな話ばかりだった。
- ・ 産経新聞は読者層が固定された記事が目立った。「習氏統投へ 改憲案終身制時代 性急な改革」の記事が三分の一を占めていた。自分たちのところだけ見ていたら気づかなかったが、他紙と比べると明らかに男性目線の記事だった。 等



⇒ 記事のリードや内容にはこっそり意見が盛り込まれている。読者は、どこが『事実』か『意見・主張』かをきちんと区別して読む必要がある。

今回、2月26日はオリンピックが終わったばかりなので、そのことが一面に掲載されているものばかり思っていたが、かなり新聞各紙によって違いが出ていたので素材として選んだ。

ということからも、ひとつの新聞からしか情報を得ないことの難しさがあるのではないかな。

また、Global Express のチームを立ち上げたときは、「イラク戦争」が起きた時だった。



3/19 夕刊 朝日新聞は「米支持表明 30 カ国」、読売新聞は「米支持 45 か国」と報じている。読売はよりインパクトの強い、内々支持を含めた「45」を使った。



朝日と読売新聞に同じ写真が使われている。通信社からもらった写真を使っている。見出しはほぼ一緒だが、微妙にニュアンスが異なっている。

戦争のときは情報合戦になる。

太平洋戦争の時にも、日本政府は「こちらには、戦うための大義名分がある」との情報を発信した。

戦争プロパガンダ 10の法則

1. われわれは戦争をしたくない
2. しかし敵側が一方的に戦争を望んだ
3. 敵の指導者は悪魔のような人間だ
4. われわれは領土や覇権のためではなく、偉大な使命のために戦う
5. われわれも語って犠牲を出すことがある。だが敵はわざと残虐行為におよんでいる
6. 敵は卑劣な兵器や戦略を用いている
7. われわれの受けた被害は小さく、敵が与えた被害は甚大
8. 芸術家や知識人も正義の戦いを支持している
9. われわれの大義は神聖なものである
10. この正義に疑問を投げかける者は裏切り者である

湾岸戦争やイラク戦争の時には、イメージを強化するように編集された写真が使われたり、事実ではない情報が伝えられたりした。

このように各紙によって、訴えたいこと見せたいことが異なる。知らず知らずのうちに、発信側の思いが記事に反映されているのかもしれない。

Q. カッコの中に当てはまる語句は？

問題：カッコの中に当てはまる語句を入れなさい。

◆嘘も百万遍つけば（ ）である。

◆戦争の最初の犠牲者は（ ）である。

A. 答えは、「真実」

1つ目は、ナチスドイツの宣伝相ゲッペルスという言葉が由来とされている。ただ、この言葉でさえ、実際には、「重大な嘘を繰り返せば、人はその嘘を信じるようになるだろう。また、自分もそうなるだろう」と話したことが伝聞される間にデフォルメされていったものだという。

● 「切り取られた写真」の元の姿を想像する

〔トリミング前の写真を想像して描いてみる〕

各自ワークシートにあるトリミングされた写真の元の様子を想像して描き込む。



〔グループで共有〕

グループで見比べながら話し合う。グループから一番印象的だったものを一枚選んで講師に渡す。

〔全体で共有〕

各グループから選ばれた作品を全体で共有した。

選ばれた作品に書き足されていたものは…

- ・ 左に警察、下に報道陣
- ・ 左に倒壊した建物
- ・ 上に「UNIVERSAL STUDIOS」と書かれた看板 などを書き込んだ人もいた。

実際の切り取られる前の写真



⇒ 実際、私たちが普段目にしてるものは、トリミングされた情報だという認識を持つことが大事。写真の外側の風景があるはずである。

“真実”はどこにある？

- 真実は際（きわ）にこそある
- 多様な視点と複眼的思考
- 「任せて文句を言う」から「引き受けて考える」エネルギーの「ワガコト化」

ニュース 23 の元キャスターだった下村健一さんと話をした時、“真実”は際（きわ）にこそあると話されていた。イラク戦争のバグダット陥落の写真は、「遠く離れたホテルから見ると、あの場には多くても何十人かの人しかおらず、まわりは閑散としていた。イラク全土から集まっているかのように見えるが、その際（きわ）には嘘が見え始めていた、際（きわ）にこそ真実がある」と聞いて納得したことがある。メディアは、そのギリギリのところをきれいに切り取って、私たちに見せているのである。

日本国際理解教育学会の講演会で、「どうやったら、メディア・リテラシーは身に付きますか」と質問したことがある。「海外メディアを見てください。日本のメディアだけ見ていたら、何が本当かわからなくなる。つまり、多様な視点と複眼的思考を持ってください」とのことだった。

社会学者の宮台真司さんは、「メディアが悪い」と他人事にするのではなく、私たちが引き受けて情報をどう咀嚼し、どう自分事として発信したり、アクションにつなげていくのかと話している。

なぜ報道されなかったのか？



3.11 が起きた時、日本の報道機関において、なぜ左のような写真は報道されなかったのか、なぜ世に出回らなかったのかということも考えなくてはならないのかもしれない。

なにも戦争が特別なことではなく、日常で同じようなことが起こっていることも、自分たちがそれを情報の受け手として、また送り手として、どうしたらよいのかについて最後のセッションで考えていきたい。

Session3

① 情報の発信者としての私たち

- ・ 見えているものと見えていないもの：
視覚的なものではなく、脳が見ようとするか否か。

● バスケットボールパス

Q. 30 秒の動画を見て、白いTシャツを着ている人たちが
何回ボールをパスするか数えましょう。

→ 自分が数えた数字のところで挙手。



⇒ 実はこの実験は、パスの回数を正しく答えられるかが問題ではなく、途中でゴリラが登場したことに気が付く人が、どれくらいいるかを検証する動画「インビジブルゴリラ」。

＊ゴリラは堂々と真ん中を横切っていたのに気づかなかった人が半数ほどいた。



どんな国籍、性別、年齢にかかわらず、おおよそ半数の人には見えないという検証結果が出ている。

Q. では、なぜゴリラが見えなかったのか？

(見えなかった人のコメント)

- ・パスを数えるように言われて集中していたから。でも今思えば、変なものが通ったことを覚えているが、「何回？」と尋ねられた瞬間に、その情報は頭の中から消去されてしまった。
- ・最初に「数えなさい」とイメージさせられていたから。

⇒ この動画は普段、ファシリテーター研修で見せている素材である。なぜ、メディア・リテラシーの研修で見せたかということ、基本は一緒かなと思うから。私たちの中には、見えているものと見えていないものがあるということ。これは視覚的なことではなく、見ようとしているものとそうでないものがあるということ。視覚ではゴリラが捉えきれていないはずがない。脳が遮断してしまっている。見ようとしていなかったわけである。

今日は、メディア・リテラシーをテーマとしているが、情報の送り手が見せたいものと見せたくないものがあるかもしれないし、受け手が受け取りたい情報と受け取りたくない情報があるかもしれない。あるいは、意図されないで知らされていない、隠されている情報があるかもしれない。また、私たちは目に入ったこと、体験したことがすべて真実だという風に思っているかもしれないが、こうしたことがあることも認識する必要があると思う。

Q. フェイクニュースとは何なのか？だれが作っているのか？

⇒ フェイクニュースの作り手には、意図的・意識的に作る人と「無意識的」に作っている人がいる。
また、フェイクニュースをシェアする人も一役を担っている。

A) 政治的な確信犯

- ・2016年の英国・EU離脱の是非を問う国民投票、及び米国・大統領選の投票

「ヒラリーが過激派組織IS(イスラム国)に武器を供与した」



A) EU 離脱の時や、アメリカ大統領選挙の際にはフェイクニュースが大きな影響を与えたといわれている。

B) 愉快犯

- ・熊本地震の発生直後、動物園のライオンが脱走したというデマがTwitterで拡散。

「おいふざけんな、地震のせいでうちの近くの動物園からライオン放たれたんだが 熊本」



B) 熊本地震の直後、ライオンが脱走したらしいという情報がものすごい速さで拡散された。

これを拡散した男性は偽計業務妨害で逮捕。(その後不起訴処分(起訴猶予)。)

この人は、見た人をびっくりさせたかったという理由からこの情報を発信した。

おそらく SNS 上の情報は、この類が多いと思われる。

C) ビジネスとして行う人

- ・マケドニアやジョージアの10代の若者たちが広告収入を見込んでトランプ氏支持のサイトを立ち上げた。

「ローマ法王がトランプ支持を表明した」



C) アメリカ大統領選のときに、マケドニアやジョージアの若者たちがお金稼ぎのために行った。自分のサイトの広告収入を稼ぐために、おそらく悪いと思わず、アカウント数を増やすために、どんどんフェイクニュースを意図的に作りだしていった。中には、800万円もの収入を得た若者もいたといわれている。

ジャーナリスト・津田大介氏の見立て

「メディアリテラシーを身に付けなくちゃいけないという風に言って解決できる時代ではない」



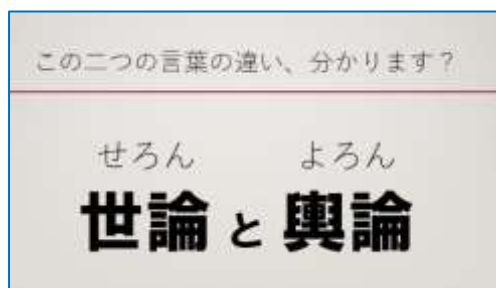
フェイクニュースは、巧妙になっていくと、なかなか見抜くのが難しくなっている。

フェイクニュースに対して法的な対抗措置を厳しくした方がよいとか、AI に判別させ監視させるとよいといった意見が出ていることに対して、ジャーナリストの津田大介さんは右のように発言している。

(出典：TOKYO FM「The Lifestyle MUSEUM」(2017年11月10日放送分)でのコメントより)

しかし、AI もフェイクニュースを作れるので、堂々巡りになってしまう。では、対抗手段はなんなのか？情報が高度化し、複雑化されていく中で、方向がわけわからなくなる時代に突入している。それでも、情報を鵜呑みにしてよい時代ではないと思う。

Q. 世論と輿論の違いとは？



⇒

世論：社会の空気や雰囲気から感覚的に出てきたもの。

輿論：議論のプロセスを通して組み立てていった意見。

できる限り思考停止をせずに、だれかの情報を鵜呑みにせず、自分たちが情報をどう理解し、どのような情報を発信していくのかを考えるプロセスを大切にしていける必要があると思う。

② 【ワーク】“賢く” なるためのプログラムづくり

私は、教育の現場にはファシリテーターが必要だと考えている。なぜなら、子どもたちが自由に安全安心に議論ができ、彼らなりの答えに到達できる手助けをするべきだと考えているからだ。

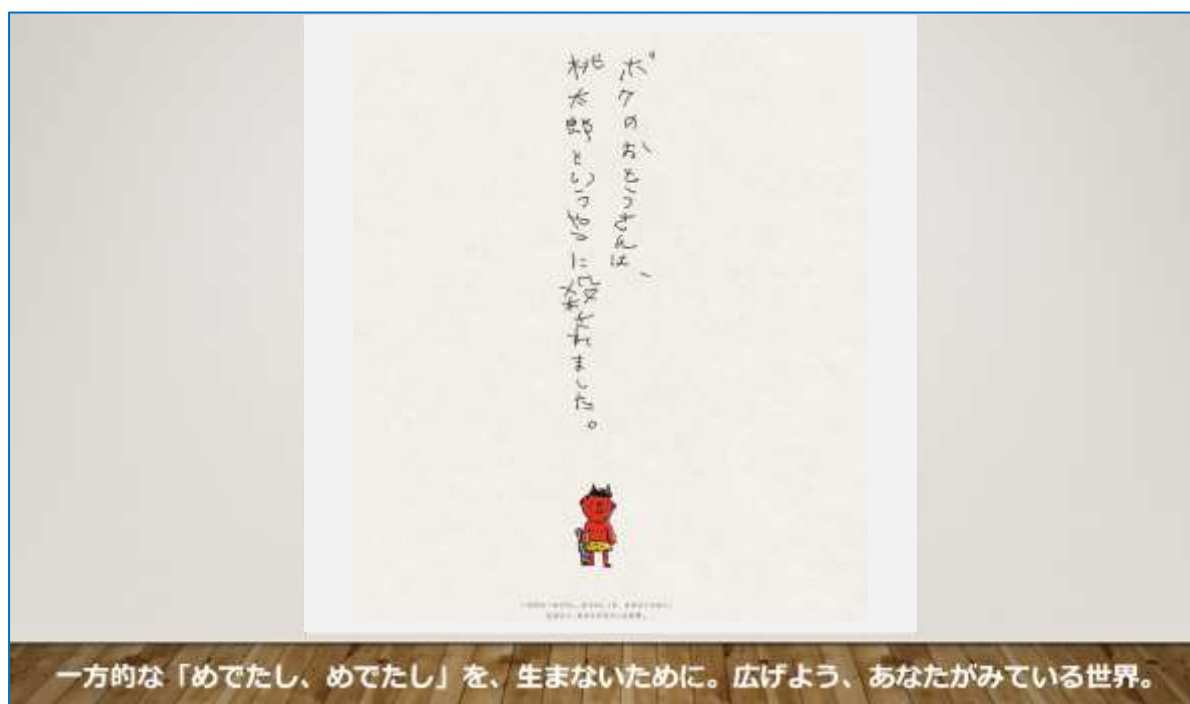
今朝、この研修のテーマがバラバラであると言っていたが、実は通底している。すべてにおいて、私たちはどのようにものを見ていくのか、自分の人生・社会において、どのようなより良い社会を自分にもたらしのかという点で、雑多に見えたテーマはすべてがつながり絡み合っている。そこで、これから教材作りをしてみようと思う。

Q. この子鬼の吹き出しに入る言葉を想像してみよう。泣いている子鬼がなんと言っているのだろうか？

⇒ これは、2013 年「新聞広告のクリエイティブコンテスト」で最優秀賞を受賞した作品。



● 昔話「桃太郎」を素材に、どんな授業が作れるか？



〔SOYJOY の CM 鑑賞〕

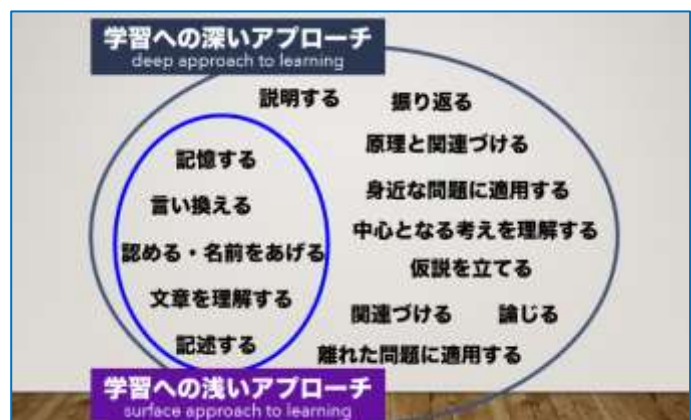
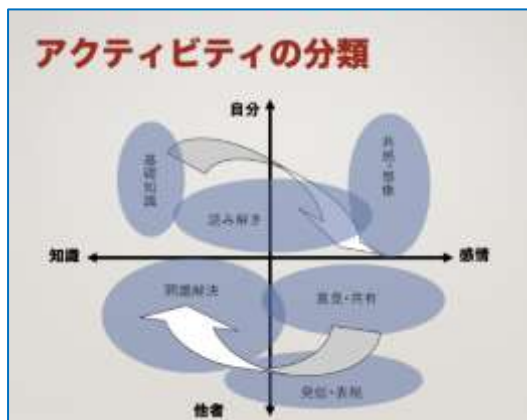
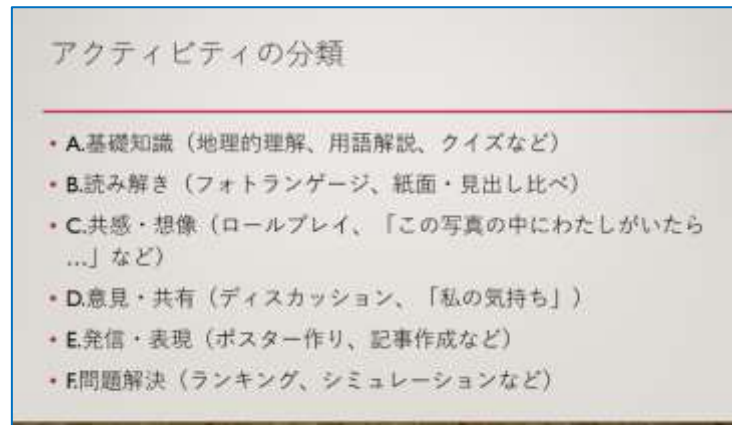
「リフレーミング (Reflaming)」…

既成のもの・ことを、フレームをかけなおして別の視点で捉えなおすこと。

Q. なぜ「Global Express」がつくられたか？

⇒ イギリスの子どもたちにアフリカについてイメージするものを絵にかきなさいと指示した際に、マサイ族と野生生物しか描かなかった。これは危険であると感じたことが起源。彼らの目に入っただけが、彼らの世界になってしまう危うさ。

参考までに、教材づくりの参考として紹介しておく、



参考：松下佳代編『ディープ・アクティブラーニング』（勁草書房）P.46

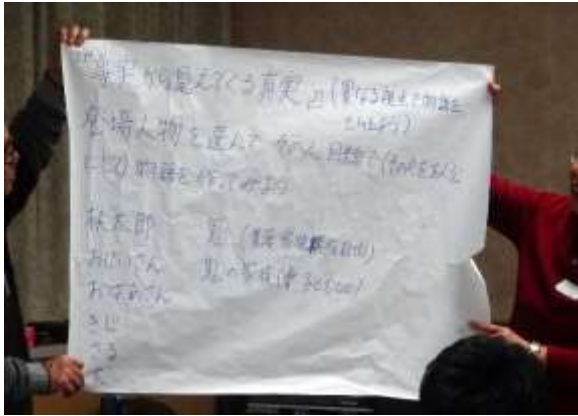
こうしたことを行ったり来たりしながら、バランスをもって学習の深化が发展できるのではないかと考えている。たくさんのアプローチで桃太郎に取り組んでももらいたい。

あのイラストを描いたクリエイターのアイデアの発端は、シリア戦争のニュースを見ていた時に、本当にこの側面だけ見てよいのかと考えた時に思い付いたそうだ。

〔グループワーク:「桃太郎」の要素の中にどんなことが入っていたか？授業でどう活かせるか？〕

まず、ポストイットを使って、桃太郎の話の要素や切り口、あの話とこの話にはこんな共通項があるよね、どんな授業で使えそうか、といったことを書き出す。桃太郎の話の見方を出し合い、模造紙に書き出していく。

〔発表〕全体での共有



さまざまな登場人物の目線で物語をつくってみよう。タイトルは「事実から見えてくる真実～異なる視点で物語をとらえよう」。

グループごとに配役し、その役の目線に立った物語を考えさせる。



「桃太郎が鬼ヶ島から帰ってこなかったら？」と話をを変えて、その後の物語を想像してみよう。

たとえば、戦いに負けた、鬼は人間だったので仲良く暮らした、何年後かに桃太郎が鬼を妻として連れて帰ってきたなど、鬼をやっつけるとというフレームを変えてみよう。

⇒ 鬼が外国人だったなら？と想定しても深い学びにつながりそうだ。



さまざまな登場人物になり、ロールプレイをして、各登場人物のバックグラウンドを出し合いながら、インフォメーションギャップを埋める。そして、ストーリーメイキングしながら、鬼退治をする

かどうかを判断させてみる流れ。

たとえば、鬼ヶ島は、ゴミ捨て場で流刑の地だったとか、村を襲って食料を確保しに行かなくては生きていけなかったなど、鬼にも正義や理由、立場があったということ、犬・さる・キジなども昔、鬼に世話になっていて鬼にもこんないいやつがいるんだといった情報を持ち寄りながら、どういうストーリーを作っていくか。

⇒先進国と途上国の関係などを想像された人もいるかもしれない。



桃太郎が鬼退治に行った理由や、鬼から見た暮らしを想像させていく。鬼がマイノリティとして描かれているので、鬼の立場を理解するきっかけとする。また、鬼退治後の桃太郎の生活は豊かになったのか、鬼の生活はどうなったかについても考えさせてみる。

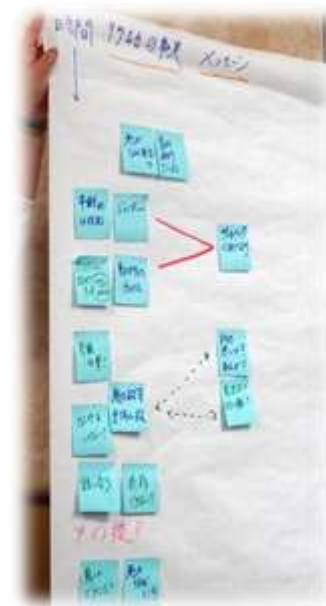
桃太郎の話の中ではマイノリティである鬼は退治されてしまったが、共存していくことは不可能か、いろんな共存の方法ということについて考えていきたい。

⇒ 幸福論から「幸せって何か？」を考えさせるのも面白いかもしれない。



おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯にというのは男女共同参画の視点からどうなのか、きび団子ひとつでの主従関係を結ぶのは安すぎるのか、本当に仲間なのか。宝物で本当に幸せになれるのかという視点。

まず、普通の話でのロールプレイの後、みんなが幸せになるようにセリフを変えてみようと考えさせ、ロールプレイ2を発表する。それを見た他のグループが感じたことを共有し、みんなで共存できる幸せな社会とは？を考える流れ。



なぜ鬼は村を襲う理由があったか？子どもの桃太郎が鬼退治に行ってよいのか？鬼退治はだれの意志だったのか？動物たちは、忠誠心や勇気や知恵の象徴と思われるが、ほかの動物は考えられなかったのか？桃太郎や鬼を手助けしてくれる人はいなかったのか？共存する方法は考えられないか？鬼の生活保障は？な

どの切り口としての視点が出た。

⇒子ども兵士の話、哲学的な深い話にも発展できる可能性も感じた。



中学3年生の「公民」、もしくは高校の新しくできる「公共」という授業で使う想定で考えた。

NHKの「昔話法廷」をパロディとして「桃太郎裁判」。テーマは、『桃太郎は英雄だったのか？』

桃太郎の功罪を上げさせる。たとえば功は、高齢者に希望を与えた、ニートに職を与えた、村の治安を取り戻した、労働法。罪は、殺人傷害、金品強奪と横領、銃刀法違反、計画的犯罪だった、器物破損。

さまざまな立場の登場人物に証人として証言させ、さまざまな見方を共有し、最後に裁判員制度で桃太郎が裁判にかけられたら、子どもはどう判決を下すかという授業を組み立てた。



鬼の持つ教育効果は何かを考えた。

子どもと大人が持つ鬼に対するイメージが違うので、そこから考えることにした。子どもは鬼が怖いからとにかく退治したい。大人には厳しさを出す理由があり、子どもに思うこともある。桃太郎は男だから退治され、女だったら和解しに行ったのではなかったか。和解しに行ってもよかったのではないかな。

●さいごに

Q. メディアを主体的に批判的に読み解く力とは？どう育めるか？

学びは一人では成り立たない。メディアを単独でとらえたり、単独の情報収集では見えてこない部分が出てきてしまう可能性がある。

今日皆さんに最後の課題として与えたのは、どうしたらリフレームできるか？だった。他の視点を持つ隣人が学びの発端となりえるし、教師たる皆さんにはそれができると思う。コミュニティの中に別の視点を入れてくれる存在があれば、きっとそのコミュニティは豊かになる。



「主体的・主体性」とは、一人で頑張らなくてはならないというイメージがあるかも知れないが、決してそうではない。学び合うコミュニティをどれだけ作っていけるのかが課題である。津田さんが言っていた「もうメディア・リテラシーとは言ってられない」の、その先のものがあるように思う。私たちは、

どれだけ学び合う場を作れるか、情報を鵜呑みにせず、みんなで咀嚼できる場をどれだけ作っていけるのかということが、これからの時代に問われていくのではないと思う。



2017 年度国際教育教材体験フェア in 滋賀 Part 8 報告

日時：2017 年 6 月 25 日（日） 13:00-16:45

会場：ピアザ淡海 203・204 会議室

参加者数：49 名

主催：（公財）滋賀県国際協会

共催：JICA 関西、国際教育研究会 Glocal net Shiga

分科会 1 外国人ゲストを招いた授業の提案①

言葉がわからない体験ゲーム『何が起こった（震災編）』

■講師：国際教育研究会 Glocal net Shiga 森雄二郎さん

堀川高校ユネスコクラブ WITH のみなさん

滋賀県国際交流員（CIR） ホドリーゴさん（ブラジル）、マディさん（アメリカ）

■参加：30 名

1) 言葉がわからない体験ゲーム「何が起こった？（震災編）」体験

この「何が起こった？（震災編）」は、現地の言葉がわからない状況の中で、震災に遭ったら、どんなふうに感じるか、どんなことに困るのかを疑似体験するゲーム。今回、外国人ゲストを招いた授業の提案ということでゲストのお二人には、日本語がわからないという設定でゲームに参加してもらった。

場面 1 どちらに逃げる？

2 枚の標識には、左右反対の矢印と何か外国語が書かれている。自分の力で、安全な避難路を進まなくてはならない状況。さて、あなたはどちらの矢印に従って避難するか？

☆ 外国人ゲストには、周囲の人たちに、自分の母語でそれぞれが左右別々の方向に避難を呼びかけるよう（混乱させるよう）大声でアピールしてもらった。



場面 2 どっちを飲む？

避難所でペットボトルが2本ずつ配られた。それぞれのボトルには読めない文字のラベルがついている。あなたは、どちらの水を飲むか？

☆ 外国人ゲストには、別々のペットボトルを選んでもらった。

この教材について詳しくは→ http://www.s-i-a.or.jp/sites/default/files/project/education_a1_4.pdf

2) 避難所のルールを日本語がわからない人たちに伝えよう！（ポスターワーク）

①「避難所のルール」を日本語が読めない外国人避難者に伝えるための工夫を考える。

各グループにそれぞれ伝えるルールが配られた。文字情報を使わずに、外国人避難者に伝えるためにポスターを作成する。

<伝えるルールの例>

（電話使用のルール）

携帯電話は、マナーモードにする等、音が出ないようにしてください。（21：00 以降の通話は、体育館の外でお願いします）

公衆電話は、発信専用で、長電話は控えてください。（1 回 3 分まで）



②外国人ゲストに実際に伝わるか、ポスターを見せてみる。

ゲストの二人から、読み取れた内容、わかりにくい内容についてコメントをしてもらった。

- ・ 燃えるものと燃えないものを分別する文化が違うので理解が難しい。
- ・ カセットコンロは、来日して間もない人にはわからないだろう。 など

③どんなことを感じたか、どんなことに気づいたかを話し合ってみる（振り返り）

日本人同士であれば通じるかもしれないが、日本の文化や当たり前が通じない外国人には、誤解が生じてしまったり、不安をあおったり、混乱させたりする可能性があることが分かった。



文字が読めない、言葉が通じない体験を通して…

- ・ 外国人住民（情報弱者）の立場や気持ちを知る
 - ・ 相手に配慮した情報発信の必要性を感じる
- 発展学習として
「自分達にできることは？」を考える

3) まとめ

1. 「配慮を必要とする人」とは、誰のことだろうか？

- ・ 外国人だけの問題ではない
- ・ 「伝える（自分）」⇒「伝わる（相手）」 相手が理解できるように配慮することを念頭に置く。
→ 発信するだけで満足しがちではないか？ 相手に**伝わる工夫**、**伝えようとする努力**が必要。

2. 日頃から心がけておけることは何でしょうか？

- ・ 身の回りにある様々な障害に気づく
- ・ “当たり前”を見直す意識を持つ 相手の立場になって初めて気付くことがあるだろう。



誰もが暮らしやすい社会づくり

『ユニバーサルデザイン』『社会的包摂』という観点を持つことも大切だろう。

例）ピクトグラム（絵文字）の活用などの紹介 など

分科会2 「国際理解教育」ってなんだろう（JICA 教師海外研修授業実践報告）

■講師：2016 年度 JICA 教師海外研修参加

大阪府立長野北高校教諭 横井 直子さん

京都市立西京高校教諭 金田 将裕さん

■参加：17 名

1) アイスブレイキング

紙を4つに折り、以下についてそれぞれ記入し、グループで自己紹介する。

①名前 ②国際理解について興味のあること ③ネパールと言えば ④今日期待していること

2) ネパールの紹介

ネパールの地図と国旗紹介

3) 異文化理解、人権を学ぶカードゲーム「レヌカの学び」

この教材について詳しくは、こちらを参照 → http://www.dear.or.jp/book/book01_renuka.html

- ①グループでレヌカさんの気持ちをネパール／日本にいた時のものに分ける
- ②裏面の絵で答え合わせをし、ネパール事情等を含めた解説

4) 実践授業報告（横田先生）

- ・ 1 回目（研修前）の授業：
導入クイズ（どうしてネパールに研修に行ったのか？）
- ・ 研修中の思い：
ネパールで感じたグローバル化の中にある「シンプルな暮らし」の良さをどう生徒に伝えるか。
- ・ 2 回目（研修後）の実践授業：
日本史 文明開化の単元と絡めた授業「発展について考える」
水汲みをしているネパール人女性の写真を見て、女性の気持ちを考える。
- ・ 3 回目（研修後）の授業：
「豊かさについて考える」ワークショップ（別添資料使用→）
目的：豊かさには様々な価値観があることを伝える。
①豊かさにおける 17 項目を順位付けする。
②日本人高校生のエピソードを読み、その気持ちを考える。

（発表者の所感）

以前は国際理解教育に対して、答えや生徒の反応を求めすぎていた。

現在は世界の課題を知ることを通して、生徒の思いや行動に落とし込む教育。課題を身近に感じてもらうことが一番必要と感じている。



《 豊かさにおける 17 項目 》

1. おしゃれなもの、おいしいもの、便利なものがすぐ手に入る	2. 最新の携帯電話をすぐ手にいれられる
3. 誰もが職歴をもって、仕事の内容に見合った対価を得ながら働くことができる	4. 商業施設や娯楽施設をよびこみ、自分の住んでいる地域が活性化している
5. 大気・土壌、海洋汚染や森林破壊、生物の絶滅がこれ以上進まない	6. 少数意見であっても尊重され、簡単に切り捨てられない
7. 自分たちの地域のことは住民が話し合っていて決める	8. 銃などの武器が簡単に手に入らない
9. 長時間の通勤・通学や満員電車に悩まされない	10. 十分な水があり、毎日お風呂に入ることができる
11. 大人も子どもも、自分の望む教育をいつでもどこでも受けることができる	12. 「女性だから～」「男性だから～」「〇〇だから～」という考え方に縛られない
13. いざというときに頼ることのできる友人がいる	14. 税金は高いが、医療や福祉、教育に税金が多く使われ、無料でサービスが受けられる
15. 防衛予算を増額して、軍事力を強化する	16. 自分の自由な時間がある
17. 十分な金融資産があり、利子や株式配当だけで生活することができる	

① あなたにとって、生きていくうえで大切な価値観はなんですか？上の表から3つ選びましょう。そして順位をつけてみましょう。

② 次のエピソードを読みましょう。

恵子さんは高校2年生。彼女はどうしても最新モデルの携帯が欲しくて、1年で機種変更してしまいました。今は携帯代を稼ぐために週4回バイトをしています。けれども、そのせいで家に帰るのが遅くなり疲れたまじり、授業中の居眠りや遅刻が増えてしまいました。ついには、遅刻指導にもかかってしまいました。

何が恵子さんに最新モデルの携帯を欲しいと思わせたのでしょうか。

5) 実践授業報告（金田先生）

京都市立堀川高校での化学の授業を紹介
「ネパールの生活と化学」

- ・ ホームステイ先での生活を紹介
- ・ 現地での搾乳、乳脂肪分の分析、ホールピペットの紹介
- ・ クラスで同じ実験：乳脂肪分を遠心分離し、脂肪量を求める
- ・ 京都市のごみ問題についてどういった解決策があるか考える。現在、京都市が取り組んでいるバイオガス化の紹介。ネパールでもバイオガスが使われていることを紹介
- ・ ネパール笛の演奏
- ・ ネパールの写真を机上に並べ、参加者が気になったものを質問
- ・ 質疑応答



分科会3 外国人ゲストを招いた授業の提案②

『ここは何色？』一身近な色から文化・歴史を考えようー

- 講師：国際教育研究会 Glocal net Shiga 川崎 功さん
滋賀県国際交流員 ホドリーゴさん、マディさん
- 参加：27名

1) アイスブレイク 好きな色でグループになろう！ (グループ分け)

- ・ 各テーブルに同系色の色見本カードが置かれている。
 - ・ 自分が好きな色のテーブルに移動する。
 - ・ なぜその色が好きなのかの理由について、同じテーブルに集まった人同士で意見交換をする。
- ※ 同じ色味が好きだという共通点がある方たちなので、親近感を感じられる。
しかし、その色が好きな理由は千差万別。



2) 非識字体験ゲーム「ここは、何色？」ワークショップ体験

- ・ 指示シートに書かれた外国語で表記された「色」を示す単語を、会場に貼りだされた色辞書ポスターを使って調べ出す。
- ・ 見つけ出した色を 100 マスワークシートの指定された番号のマスに塗り込んでいく。
- ・ 正しく色が塗れると、文字や絵が浮かび上がってくる。



この教材について詳しくは→ http://www.s-i-a.or.jp/sites/default/files/project/education_a1_3.pdf

(参加者の感想)

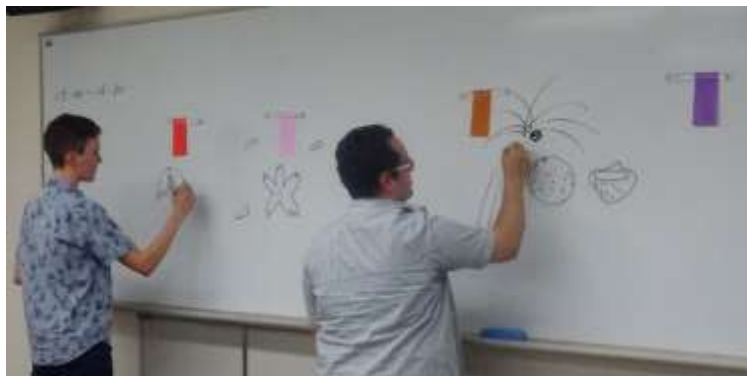
- ・ アラビア語など、書き写すだけでも難しい言語があった。
- ・ 色の単語を外国人ゲストに教えてもらったが、発音をカタカナで聞き取るのが難しかった。
- ・ アルファベットの単語がたくさんあって、どの言語なのか判別しづらかった。

3) 外国の方と色のイメージを共有できるか？イラストを描いて伝えてみよう！

- ① 各グループに「色」見本カードを配布する。
- ② グループで、その色を外国人ゲストに伝えるために紙にイラストを描く。
- ③ そのイラストを外国人ゲストに見せてみる。この時、言葉による説明は禁止！
- ④ ゲストは、そのイラストからイメージする「色」を色見本セットから選び、提示する。
- ⑤ 自分たちが伝えたかった「色」が正しく伝わっただろうか？



そこで、アメリカ出身のマディさんと、ブラジル出身のホドリーゴさんにそれぞれ、指定された色から思いつくものをイラストに描いてもらった。



＜マディさんが思いついたもの＞

赤→ メジャーリーグ 「ボストン・レッドソックス」のロゴ

ピンク→ 桜

＜ホドリーゴさんが思いついたもの＞

茶色→ ヤシ

紫 → ブラジルの国花イペの花

☆ 同じ色を見ても、連想するものは多種多様。それぞれが生まれ育った地域の文化や風土などが、個人の色からイメージするものを作り上げていることが分かる。

4) 新しく導入される道徳について

来春より小学校では道徳が教科化されることとなり、使用される教科書には外国ルーツの子どもたちとのかかわりについても多数取り上げられていることを紹介。

ますます異文化理解や多文化共生に向けた取り組みが重要となってきた状況について意見交換の時間が持たれた。



分科会4 イメージを通した異文化理解～ケニアの子どもたちのケニア・日本のイメージ～

■講師：山本康夫さん JICA 関西 滋賀県国際協力推進員

ゲスト：Rose さん（JICA 研修 ABE ケニア人研修員）

■参加：21名

1) イメージマップ作成

グループになり、それぞれ紙にケニアのイメージを書き出す。

- ・ グループ内で自己紹介とともにケニアのイメージをシェアする。
- ・ マーカーを別の色に持ちかえて、他の人から得たイメージや情報を書き足していく。
- ・ ローズさんは各グループをまわり、気になるキーワードや出てきた疑問について答える。



2) ケニアOXクイズ

- ・ グループごとに、配られた12枚のカードに書かれたOXクイズに答える。
 - ・ 選んだ答えに従い、それぞれ次の質問カードの番号が指定されている。
 - ・ 順番に質問に答えていき、すべて正解であれば、12枚の問題を解くと最初のカードに戻ってくるようになっている。（一巡するように作られている。）
- ☆ クイズの内容は、日本人がケニアのイメージとしてもっていきそうなことに関して実際と異なる場面をとりあげている。 例：「ケニアの首都であるナイロビは滋賀県の夏より暑い」など。
- ☆ 学んだことをイメージマップに書き足していく。

3) ケニアの子どもたちのケニア・日本のイメージは？

- ① ケニアの子どもたちに行った調査によるケニアと日本のイメージが書かれたカード20枚（上位10項目ずつ）を、どちらの国に対するイメージなのか考え並べかえる。（余裕があれば1～10位の順番に。）
- ② 各班に2名を残して、残りのメンバーは他の班それぞれに移動して、カードをどのように分けたか見て回る。テーブルに残った2名は、自分たちのグループがどう考えてイメージを分けたかを説明し、他の班から来た人は、自分の班との違いを説明する。
- ③ 元の班に戻って、他の班との違いを話し合い、最後に自分の班の答えを決定する。
- ④ データをみて答えあわせ。
- ⑤ ローズさんによる補足説明。（どうしてケニアの子どもたちがそのようなイメージをもっているのか。）



4) Roseさんからケニアの紹介

地理や政治、民族、文化、子どもの一日、日本の文化とケニアの文化との比較などについて紹介があった。



資料集

- ◇ 滋賀県における国籍別外国人人口
- ◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告
- ◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介

「国際教育研究会 **Glocal net Shiga**」について

私たち、「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (ぐローかる ネット し が)」は平成 15 年 (2003 年) 4 月に立ち上がったグループです。名前にある “**Glocal**” とは **Global + Local** を結びつけた造語です。“**Think Globally, Act Locally**” (地球規模で考え、地域から行動する) という開発教育／地球市民教育／グローバル教育の地域社会に対する考え方を現すことばがあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀 (Shiga) で地域に根ざした人たちをつなぎ (Network)、みんなと一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
- 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
- 世界と自分はつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
- 地球的課題を解決するために行動すること **公正・平和な社会づくり**
など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法 (おもに参加型学習法) を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力 NGO 関係者・外国籍住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊 OV など、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。これまでに滋賀県の特徴を生かした題材をとらえ、「ブラジルボックス」・「わたしん家の食事から」・「非識字体験ゲーム『ここは、何色?』『はじめてのお見舞い』」・「『言葉がわからない』体験ゲーム何が起こった? (震災編)」の教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月 1 回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

<お問合せ先>

公益財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2 階

電話: 077-526-0931 ファックス: 077-510-0601

E-mail: omori@s-i-a.or.jp

研究会 平成29年（2017年）度の主な活動について

開催日	内 容
4/26	国際教育教材体験フェア 分科会について話し合い 言葉がわからない体験ゲーム「何が起こった?(震災編)」での国際交流員の効果的な活用法について相談、 非識字体験ゲーム「ここは、何色」のデモンストレーション
5/14	国際教育教材体験フェア 分科会について話し合いおよびデモンストレーション 世界の色に対する印象、意味、慣用句などについて情報交換
6/11	国際教育教材体験フェア 分科会について国際交流員との打合せ 講師依頼についての話し合い
6/25	国際教育教材体験フェア 各分科会に参加・運営
8/21	滋賀県総合教育センター 中堅教諭等資質向上研修 選択研修「国際理解」実施
9/2	滋賀県総合教育センター 中堅教諭等資質向上研修 選択研修「国際理解」報告 アメリカ・ワシントン DC、ホロコースト博物館訪問報告 2017 年度の国際教育ワークショップ(1日研修)のテーマ・講師候補案について検討 UNHCR ユース作成ワーク「いのちの持ち物けんさ」プチ体験
10/22	2017 年度国際教育ワークショップ テーマ・講師について話し合い WORLDLIBRARY アンバサダー 海外絵本のよみきかせについて話し合い 講師依頼対応について話し合い、県内学校等での出前授業の実践報告
11/19	2017 年度国際教育ワークショップ テーマ・講師について話し合い WORLD LIBRARY アンバサダー 海外絵本のよみきかせ 講師依頼対応について話し合い
12/9	WORLD LIBRARY アンバサダー 海外絵本のよみきかせ 県内学校等での出前授業の実践報告 フィリピン訪問報告
1/20	WORLDLIBRARY アンバサダー 海外絵本のよみきかせ 2018 年度国際教育教材体験フェアについて話し合い 2018 年度滋賀県総合教育センター 選択研修について AIESEC アイセック京都大学委員会より「学校授業プログラム～JIZOKU～」について説明
2/25	WORLDLIBRARY アンバサダー 海外絵本のよみきかせ 次年度国際教育教材体験フェア(教職2年次研修(選択研修))について話し合い ワークショップデモンストレーション「スマートフォンの一生」「防災ワークショップ クロスロード」伝達研修 JICA 滋賀デスク 山本さんによるケニアについてのワークショップデモンストレーション
3/3	国際教育ワークショップ「時事問題を教室にーメディアを主体的に批判的に読み解く力を育てようー」に参加

【今年度の活動の様子】

ワールドライブラリーアンバサダー
世界の絵本よみきかせ



国際教育・開発教育教材の紹介および貸し出し規定について

(公財)滋賀県国際協会

当協会では、国際理解教育および開発教育に関する資料・教材（ビデオ等も含む）を655点（H29年度末現在）所蔵しており、自由に閲覧・視聴することができますので、お気軽にご利用ください。

なお、当協会ホームページからも教材目録、貸出申請書様式が入手できます。

<http://www.s-i-a.or.jp/inquiries/lending#a>

<利用について>

- 閲覧・視聴 どなたでもご自由にご利用いただけます。
ただし、事務所に保管しておりますので、閲覧を希望される場合は、職員にその旨お伝えください。
- 利用時間 日曜日から金曜日まで（祝日を除く） 午前9時から午後5時まで
- 貸 出 原則として、会員および団体（学校を含む）に限ります。
所定の貸出申込書にご記入の上、当協会窓口にご提出ください。
貸出期間：2週間以内（申請により期間延長可能）
貸出冊数：1回5点以内
- 返 却 当協会窓口まで直接ご返却ください。やむを得ないと認められる場合は、借受側の料金負担のもとに郵送・託送を認めます。
なお、破損、紛失の場合は実費をご負担いただきます。



貸出教材の一部

お問合せ先 公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2 階

電話 077-526-0931 ファックス 077-510-0601

HP <http://www.s-i-a.or.jp> E-mail info@s-i-a.or.jp

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教材名	発行・出版社	種類
1	0-0概論1	NGOスタッフのための国内事業ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
2	0-0概論2	参加型 ワークショップ入門	明石書店	書籍
3	0-0概論3	テキスト国際理解	国土社	書籍
4	0-0概論4	国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想	国土社	書籍
5	0-0概論5	国際理解 重要用語300の基礎知識	明治図書	書籍
6	0-0概論6	南北問題と開発教育 地球市民として生きるために	亜紀書房	書籍
7	0-0概論7	開発教育2006 Vol.53 特集 開発教育と教材	明石書店	書籍
8	0-0概論8	地球市民教育のすすめかた	明石書店	書籍
9	0-0概論9	はてな？ なぜかしら？ 国際問題 全3巻	教育画劇	書籍
10	0-0概論10	開発教育2006 No.47	開発教育協会	ブックレット
11	0-0概論11	開発教育2006 No.49 特集 開発教育のこれまでとこれから	開発教育協会	ブックレット
12	0-0概論12	開発教育2006 No.50 特集 平和を築く学び	開発教育協会	ブックレット
13	0-0概論13	開発教育2006 No.51 特集 地域から描くこれからの開発教育	開発教育協会	ブックレット
14	0-0概論14	開発教育2006 No.52 特集 いのちを育む学び	開発教育協会	ブックレット
15	0-0概論15	開発教育実践の手引き 開発教育ガイドブック2	国際協力推進協会	ブックレット
16	0-0概論16	「開発教育」ってなあに？ 開発教育Q&A集 改訂版	開発教育協会	書籍
17	0-0概論17	開発教育キーワード51 開発教育ブックレットシリーズNo.5	開発教育協議会	ブックレット
18	0-0概論18	新しい開発教育のすすめ方	古今書院	書籍
19	0-0概論19	新しい開発教育のすすめ方Ⅱ	古今書院	書籍
20	0-0概論20	World studie 学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	書籍
21	0-0概論21	地球市民を育む学習 -Global teacher, Global learner	明石書店	書籍
22	0-0概論22	DEAR News 100号～	開発教育協会	ニュースレター
23	0-0概論23	開発教育 特集 参加型開発と参加型学習	開発教育協会	書籍
24	0-0概論24	いっしょにESD！ 環境・人権・参加の新世紀教育	国際理解教育センター	ブックレット
25	0-0概論25	「地球時代」の教育とは	岩波書店	書籍
26	0-0概論26	地域から描くこれからの開発教育	新評論	書籍
27	0-0概論27	開発教育2008 特集 開発教育と市民性	開発教育協会	書籍
28	0-0概論28	開発教育2009 特集 開発教育の教師・指導者とファシリテーター	開発教育協会	書籍
29	0-0概論29	開発教育2010 特集 オルタナティブな経済と開発教育	開発教育協会	書籍
30	0-0概論30	開発教育2011 特集 オルタナティブな教育と開発教育	開発教育協会	書籍
31	0-0概論31	パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む	太郎次郎社エディタス	書籍
32	0-0概論32	世界で生きる力ー自分を本当にグローバル化する4つのステップ	英治出版	書籍
33	0-0概論33	シティズンシップと教育ー変容する世界と市民性	頤草書房	書籍
34	0-0概論34	開発教育2012 vol.59 特集 開発教育 この10年 そして未来へ向けて	開発教育協会	ブックレット
35	0-0概論35	開発教育2013 vol. 60 特集 学びとしてのフェアトレード	開発教育協会	ブックレット
36	0-0概論36	開発教育2014 vol. 61 特集 政治を語る市民社会	開発教育協会	ブックレット

37	0-0概論37	地域の問題解決を促進するファシリテーターハンドブック	開発教育協会	ブックレット
38	0-0概論38	この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう	文芸春秋	書籍
39	0-0概論39	グローバル時代の国際理解教育—実践と理論をつなぐ	明石書店	書籍
40	0-0概論40	100歳のジャーナリストからきみへ(人類)	汐文社	書籍
41	0-0概論41	100歳のジャーナリストからきみへ(育つ)	汐文社	書籍
42	0-0概論42	100歳のジャーナリストからきみへ(生きる)	汐文社	書籍
43	0-0概論43	100歳のジャーナリストからきみへ(平和)	汐文社	書籍
44	0-0概論44	100歳のジャーナリストからきみへ(学ぶ)	汐文社	書籍
45	0-0概論45	SDGsと開発教育 持続可能な開発目標のための学び	学文社	書籍
46	0-0概論46	開発教育2015 vol. 62 特集「平和」に向き合う開発教育	開発教育協会	ブックレット
47	0-0概論47	開発教育2016 vol. 63 特集 女性をとりまく問題と開発教育	開発教育協会	ブックレット
48	0-0概論48	増補学び舎 中学歴史教科書 とともに学ぶ人間の歴史	学び舎	書籍
49	0-0概論49	開発教育2016 vol. 64 特集 公正な地球社会のための教育	開発教育協会	ブックレット
50	0-0概論50	基本解説 そうだったのか。SDGs	(一社)SDGs市民社会ネットワーク	書籍
51	0-0概論51	グローバル時代の「開発」を考える—世界と関わり、共に生きるための7つのヒント	明石書店	書籍
52	1-0実践事例1	わくわく開発教育 開発教育ブックレットシリーズNo.2	開発教育協議会	ブックレット
53	1-0実践事例2	いきいき開発教育 総合学習に向けてたカリキュラムと教材	開発教育協議会	ブックレット
54	1-0実践事例3	つなぐ開発教育 学校と地域のパートナーシップ事例集	開発教育協議会	ブックレット
55	1-0実践事例4	チャレンジ総合的学習1 中学校「国際理解」ファックス教材集	明治図書	書籍
56	1-0実践事例5	「いのち」を考える授業プラン48	小学館	書籍
57	1-0実践事例6	人間関係を豊かにする授業実践プラン50	小学館	書籍
58	1-0実践事例7	みんなとの人間関係を豊かにする教材55	小学館	書籍
59	1-0実践事例8	いっしょに学ぼう Learning Together	国際理解教育センター	ブックレット
60	1-0実践事例9	TOOL8 8つの参加型＜基本ツール＞を使いこなす	国際理解教育センター	ブックレット
61	1-0実践事例10	STEP5 参加型ですすめる5つのステップ	国際理解教育センター	ブックレット
62	1-0実践事例11	参加型で伝える12のものの見方・考え方	国際理解教育センター	ブックレット
63	1-0実践事例12	対立は悪くない ～学校・地域の問題解決に活かす～	国際理解教育センター	ブックレット
64	1-0実践事例13	Let's Cooperate 穏やかにめごとを解決するための学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
65	1-0実践事例14	ハンドブック 楽しく学び合うワークショップ	国際理解教育情報センター	ブックレット
66	1-0実践事例15	みんなでつなごう！ 教室と世界「総合的な学習の時間(国際理解)」に役立つ学習プラン	(財)福島県国際交流協会	ブックレット
67	1-0実践事例16	国際理解教育ハンドブック 地域に暮らす外国人と一緒に学ぼう！	名古屋国際センター	ブックレット
68	1-0実践事例17	参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
69	1-0実践事例18	開発教育・国際理解教育ハンドブック 小中学校教育員用副読本	国際協力推進協会	ブックレット
70	1-0実践事例19	教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻	JICA中部国際センター	ブックレット
71	1-0実践事例20	対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方	国際理解教育センター	ブックレット
72	1-0実践事例21	ERIC レッスンバンク	国際理解教育センター	ペーパー
73	1-0実践事例22	レッスンバンク『ワールドスタディーズ』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
74	1-0実践事例23	レッスンバンク『人権教育ファシリテーターハンドブック』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
75	1-0実践事例24	活動(アクティビティ)で進める国際理解教育教材 全12セット 2005年改訂版	地球の友と歩む会/LIFE	ワークキット

76	1-0実践事例25	グローバル・クラスルーム	明石書店	書籍
77	1-0実践事例26	身近なことから世界と私を考える授業	明石書店	書籍
78	1-0実践事例27	市民学習実践ハンドブック	開発教育協会	書籍
79	1-0実践事例28	国際交流・国際協力に基づくESD教材・カリキュラム	松山ESD促進実行委員会	書籍
80	1-0実践事例29	食からみえる「現代」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
81	1-0実践事例30	はじまりをたどる「歴史」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
82	1-0実践事例31	若者のためのESD「私」から広がる世界	ESDRC	書籍
83	1-0実践事例32	身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ オキナワ・多みんぞくニホン・核と温暖化	明石書店	書籍
84	1-0実践事例33	世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド 開発教育・ESDを教室へ	開発教育協会	書籍
85	1-0実践事例34	開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる[改訂版]	開発教育協会	書籍
86	1-0実践事例35	社会参画の授業づくり-持続可能な社会に向けて	古今書院	書籍
87	1-0実践事例36	ファシリテーショングラフィック入門	明治図書出版	書籍
88	1-0実践事例37	グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング	三省堂	書籍
89	1-0実践事例38	「共に生きる」をデザインする グローバル教育教材と活用ハンドブック	メディア総合研究所	書籍
90	1-0実践事例39	ESD・開発教育 実践者のための ふりかえり・自己評価ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
91	1-0実践事例40	マンガアジア～アジアのマンガから世界を見よう～	名古屋国際センター・国際交流基金	ブックレット
92	1-0実践事例41	先生とNGOが手をつないだ！ 地域でつくる国際理解教育	福島県国際交流協会	ブックレット
93	1-0実践事例42	世界の国を知る 世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル	愛知県国際交流協会	ブックレット
94	1-0実践事例43	世界はともだち2	岩手県国際交流協会	ブックレット
95	1-0実践事例44	たった一つを変えるだけ: クラスも教師も自立する「質問づくり」	新評論	書籍
96	1-0実践事例45	生徒の生き方が変わる グローバル教育の実践	メディア総合研究所	書籍
97	1-0実践事例46	「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実践されるICEモデル(主体的学びシリーズ—主体的学び研究所)	東信堂	書籍
98	1-0実践事例47	教育ファシリテーターになろう! グローバルな学びをめざす参加型授業	弘文堂	書籍
99	1-0実践事例48	社会科 アクティブ・ラーニングへの挑戦 社会参画をめざす参加型学習	明石書店	書籍
100	1-0実践事例49	学び合う場のつくり方——本当の学びへのファシリテーション	岩波書店	書籍
101	1-0実践事例50	リラックスと集中を一瞬でつくる アイスブレイク ベスト50	ほんの森出版	書籍
102	1-0実践事例51	開発教育基本アクティビティ集1—世界とのつながり	開発教育協会	書籍
103	1-0実践事例52	Social Action Handbook(ソーシャル・アクション ハンドブック) テーマと出会い・仲間をつくり・アクションの方法を見つける39のアイデア	開発教育協会	書籍
104	1-1実践事例1	アクティビティ事典 -2002年度版-	国際理解教育センター	CD
105	1-1実践事例2	ゼロから始める主権者教育 18歳の選挙権	PARC	DVD
106	2-0南北問題1	フード・ファースト・カリキュラム 食べものを通じて世界を見つめよう	国際理解教育センター	ブックレット
107	2-0南北問題2	テーマワーク グローバルな視野を活動の中で育てる	国際理解教育センター	ブックレット
108	2-0南北問題3	食べものから世界が見える	地球市民アカデミア	ワークキット
109	2-0南北問題4	マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
110	2-0南北問題5	改訂版 NEWマジカルバナナ	地球の木	ワークキット
111	2-0南北問題6	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本	開発教育協会	ブックレット
112	2-0南北問題7①②	いい貿易って何だろう いっぱいのコーヒーから考える世界の貿易 開発教育教材シリーズ②	開発教育協議会	ブックレット

113	2-0南北問題8	たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協議会	ブックレット
114	2-0南北問題9	改訂版 たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協会	ブックレット
115	2-0南北問題10①②	新・貿易ゲーム 開発教育教材シリーズ④	開発教育協会	ブックレット
116	2-0南北問題11	新・貿易ゲーム[改訂版]	開発教育協会	ブックレット
117	2-0南北問題12	貧困と開発 豊かさへのエンパワーメント	開発教育協会	ブックレット
118	2-0南北問題13	コーヒーカップの向こう側	開発教育協会	ブックレット
119	2-0南北問題14	小学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
120	2-0南北問題15	中学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
121	2-0南北問題16	地球に学ぶ新しい地理授業	古今書院	ブックレット
122	2-0南北問題17	私たちの声が聞こえますか？ 貧しい人々の声	世界銀行	ブックレット
123	2-0南北問題18	コンビニ弁当 16万キロの旅	太郎次郎社	書籍
124	2-0南北問題19	世界から貧しさをなくす30の方法	合同出版	書籍
125	2-0南北問題20	世界と地球の困った現実	明石書店	書籍
126	2-0南北問題21	歩いてみてきいたモノのこし方行く末	京都自由学校	ブックレット
127	2-0南北問題22	バナナとエビと私たち 岩波ブックレットNo.551	岩波書店	ブックレット
128	2-0南北問題23	フェア・トレード 公正なる貿易を求めて	新評論	書籍
129	2-0南北問題24	日本はどこへ行く？	太郎次郎社	書籍
130	2-0南北問題25	世界の貧困 1日1ドルで暮らす人びと	青土社	書籍
131	2-0南北問題26	発展神話の仮面を剥ぐ グローバル化は世界を豊かにするのか？	古今書院	書籍
132	2-0南北問題27	徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバリゼーション	コモンズ	書籍
133	2-0南北問題28	たみちゃんと南の人びと	明石書店	書籍
134	2-0南北問題29	たみちゃんと南の人びと part2	明石書店	書籍
135	2-0南北問題30	たみちゃんと南の人びと part3	明石書店	書籍
136	2-0南北問題31	世界がもし100人の村だったら(英訳付)	マガジンハウス	書籍
137	2-0南北問題32	世界がもし100人の村だったら②	マガジンハウス	書籍
138	2-0南北問題33	世界がもし100人の村だったら③たべもの編	マガジンハウス	書籍
139	2-0南北問題34	世界がもし100人の村だったら④子ども編	マガジンハウス	書籍
140	2-0南北問題35	新・ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら	開発教育協会	ブックレット
141	2-0南北問題36	改訂版 100人村カードセット	開発教育協会	ブックレット
142	2-0南北問題37①②	100人村ワークショップセット		ワークキット
143	2-0南北問題38	レヌカの学び	あおもり開発教育研究会	ワークキット
144	2-0南北問題39	ケータイの一生 ― ケータイを通して知る 私と世界のつながり	開発教育協会	ブックレット
145	2-0南北問題40	お弁当屋さんゲーム ―食のグローバリゼーションを考える	開発教育協会	ブックレット
146	2-0南北問題41	ケータイの裏側	コモンズ	書籍
147	2-0南北問題42	世界の半分が餓えるのはなぜ	合同出版	書籍
148	2-0南北問題43	世界がもし100人の村だったら 完結編	マガジンハウス	書籍
149	2-0南北問題44	NHK地球データマップ 世界の“今”から“未来”を考える	NHK出版	書籍
150	2-0南北問題45	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍

151	2-0南北問題46	フードマイレージどこからくる？私たちの食べ物	開発教育協会	書籍
152	2-0南北問題47	世界中から人身売買がなくなるのはなぜ？	合同出版	書籍
153	2-0南北問題48	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第3版	開発教育協会	ブックレット
154	2-0南北問題49	カップめんから世界が見える	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
155	2-0南北問題50	地球の水のものがたり～命の水が遠ざかる国～	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
156	2-0南北問題51	戦闘機1機で学校何校つくれるか？	合同出版	書籍
157	2-0南北問題52	世界から飢餓を終わらせるための30の方法	合同出版	書籍
158	2-0南北問題53	旅をしながら	いのちのことば社	絵本
159	2-0南北問題54	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと	なつみらSHOP	書籍
160	2-0南北問題55	妹は3才 お医者さんがいてくれたなら	合同出版	書籍
161	2-0南北問題56	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
162	2-0南北問題57	ぼくは8歳、エイズで死んでいくぼくの話聞いて	合同出版	書籍
163	2-0南北問題58	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る20のヒント	合同出版	書籍
164	2-0南北問題59	マジカルバナナ V3	地球の木	ワークキット
165	2-0南北問題60	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第4版	開発教育協会	ブックレット
166	2-0南北問題61	世界の国1位と最下位—国際情勢の基礎を知ろう	岩波ジュニア新書	書籍
167	2-0南北問題62	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	汐文社	絵本
168	2-0南北問題63	あなたのTシャツはどこから来たのか？誰も書かなかったグローバル化の真実	東洋経済新報社	書籍
169	2-0南北問題64	ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら 第5版	開発教育協会	ブックレット
170	2-0南北問題65	世界がもし100人の村だったら お金篇	マガジンハウス	書籍
171	2-0南北問題66	990円のジーンズがつくられるのはなぜ？	合同出版	書籍
172	2-1南北問題1	徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバル化	アジア太平洋資料センター	ビデオ
173	2-1南北問題2	あぶない野菜 グローバル化する食卓	アジア太平洋資料センター	ビデオ
174	2-1南北問題3	奪われたエビ	アジア太平洋資料センター	ビデオ
175	2-1南北問題4	エビの向こうにアジアが見える	アジア太平洋資料センター	ビデオ
176	2-1南北問題5	コーヒーの秘密 南北問題が見えてくる！	アジア太平洋資料センター	ビデオ
177	2-1南北問題6	種子をまもれ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	アジア太平洋資料センター	ビデオ
178	2-1南北問題7	バナナ植民地・フィリピン	アジア太平洋資料センター	ビデオ
179	2-1南北問題8	ゴミを生かす人びと	アジア太平洋資料センター	ビデオ
180	2-1南北問題9	路上の子どもたち ブラジル・ストリートチルドレンの闘い	アジア太平洋資料センター	ビデオ
181	2-1南北問題10	地球データマップ	NHK	ビデオ
182	2-1南北問題11	つながっている世界 今日からできることってなんだろう？	和歌山県人権啓発センター	CD
183	2-1南北問題12	身近なモノを通して考える、世界の貧困・格差・環境 私たちの暮らしと世界のつながり	関西NGO協議会	DVD
184	2-1南北問題13	あいのり「緑の革命」	日本国際飢餓対策機構	DVD
185	2-1南北問題14	ゴンドールのやさしい光 パワーポイント版	日本国際飢餓対策機構	DVD
186	2-1南北問題15	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	アジア太平洋資料センター	DVD
187	2-1南北問題16	食べるためのマグロ売りのためのマグロ	アジア太平洋資料センター	DVD
188	2-1南北問題17	パームオイル	アジア太平洋資料センター	DVD
189	2-1南北問題18	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと&地域から始まる未来:グローバル経済を超えて	なつみらSHOP	DVD

190	2-1南北問題19	フードインク		DVD
191	2-1南北問題20	おじいさんと草原の小学校	アミューズソフトエンタテインメント	DVD
192	2-1南北問題21	もっと！フェアトレード 世界につながる私たちの暮らし	PARC	DVD
193	2-1南北問題22	スマホの真実 紛争鉱物と環境破壊とのつながり/ウェイク・アップ・コール	PARC	DVD
194	2-1南北問題23	薬は誰のものか エイズ治療薬と大企業の特許権	PARC	DVD
195	2-1南北問題24	コンビニの秘密 便利で快適な暮らしの裏で	PARC	DVD
196	2-1南北問題25	種子(たね)ーみんなのもの？ それとも企業の所有物？	PARC	DVD
197	3-0平和1	世界を変えるお金の使い方	ダイヤモンド社	書籍
198	3-0平和2	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方	合同出版	書籍
199	3-0平和3	[図説]世界の紛争地域	PHP研究所	書籍
200	3-0平和4	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
201	3-0平和5	母さん、ぼくは生きてます	マガジンハウス	書籍
202	3-0平和6	正直な気持ちを話そう イスラエル、パレスチナのリアル・ライフ	たちばな出版	書籍
203	3-0平和7	地雷の村で「寺子屋」づくり	PHP研究所	書籍
204	3-0平和8①②	Talk for Peace! もっと話そう！	開発教育協議会	ブックレット
205	3-0平和9	アフガニスタンから来たモハメッド君のおはなし	つげ書房新社	書籍
206	3-0平和10	ぼくの見た戦争 2003年イラク	ポプラ社	書籍
207	3-0平和11	Peace Archives 平和ミュージアム(DVD付)	岩波書店	書籍・DVD
208	3-0平和12	なんみん 難民理解のためのワークブック 故郷をはなれて	難民事業本部	ブックレット
209	3-0平和13	増補改訂版 Talk for Peace もっと話そう！ 平和を築くためにできること	開発教育協会	ブックレット
210	3-0平和14	アジアのこころ(英訳付)	自由国民社	絵本
211	3-0平和15	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください(英訳付)	自由国民社	絵本
212	3-0平和16	サニー カンボジアへ 続・地雷ではなく花をください(英訳付)	自由国民社	絵本
213	3-0平和17	サニー ボスニア・ヘルツェゴビナへ 続々・地雷ではなく花をください(英訳付)	自由国民社	絵本
214	3-0平和18	サニー アフガニスタンへ 心をこめて地雷ではなく花をください(英訳付)	自由国民社	絵本
215	3-0平和19	難民と地雷 全3巻	草土文化	書籍
216	3-0平和20	平和のアクティビティブック	YMCA	ブックレット
217	3-0平和21	ポーポキ、平和って、なに色？	エピック	絵本
218	3-0平和22	イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を	合同出版	絵本
219	3-0平和23	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
220	3-0平和24	クラスター爆弾なんてもういらない。世界から兵器をなくすみんなの願い	合同出版	書籍
221	3-0平和25	岩波DVDブック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える	岩波書店	書籍・DVD
222	3-0平和26	創造的(クリエイティブ)に対立解決—教え方ガイド—	開発教育協会・立教大学	書籍
223	3-0平和27	子どもとできる創造的な対立解決—実践ガイド—	開発教育協会	書籍
224	3-0平和28	井上ひさしの子どものもにつたえる日本国憲法	講談社	書籍
225	3-0平和29	『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』	朝日出版社	書籍
226	3-0平和30	ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて	せせらぎ出版	書籍
227	3-0平和31	大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法	合同出版	書籍
228	3-0平和32	ぼくらのアフリカに戦争がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍

229	3-0平和33	さよなら紛争(14歳の世渡り術)	河出書房新社	書籍
230	3-0平和34	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
231	3-0平和35	ビデオ・メッセージでむすぶアジアと日本—わたしがやってきた戦争のつたえ方(教科書に書かれなかった戦争)	梨の木舎	書籍
232	3-0平和36	へいわってどんなこと？ 日・中・韓平和絵本	童心社	絵本
233	3-1平和1	戦争の傷後 Legacies of War	国連広報センター	ビデオ
234	3-1平和2	難民女性	UNHCR	ビデオ
235	3-1平和3	難民になるって、どういうこと？	UNHCR	ビデオ
236	3-1平和4	難民もみんなも同じ地球人	UNHCR	ビデオ
237	3-1平和5	世界の難民はどこに 2004年GLOBAL VIEW	UNHCR	ビデオ
238	3-1平和6	ほんのちょっと変えてみよう	UNHCR	ビデオ
239	4-0環境1	もうひとつの日本地図	野草社	書籍
240	4-0環境2	1秒の世界	ダイヤモンド社	書籍
241	4-0環境3	地球がもし100cmの球だったら	世界文化社	書籍
242	4-0環境4	地球では1秒間にサッカー場1面分の緑が消えている	マガジンハウス	書籍
243	4-0環境5	あなたが世界を変える日	学陽書房	書籍
244	4-0環境6	地球買いモノ白書	コモンズ	書籍
245	4-0環境7	21世紀の子どもたちが地球を救う	ブロンズ新社	書籍
246	4-0環境8	ファシリテーター入門	つげ書房新社	書籍
247	4-0環境9	私にできることは、なんだろう	ascom	書籍
248	4-0環境10	にむの木のある村(ベンガル語訳付)	大阪国際交流センター	絵本
249	4-0環境11	森におかえり(英訳付)	自由国民社	絵本
250	4-0環境12	森が海をつくる(英訳付)	自由国民社	絵本
251	4-0環境13	空気はだれのもの？(英訳付)	自由国民社	絵本
252	4-0環境14	ジェイクの海のなかまたち(英訳付)	自由国民社	絵本
253	4-0環境15	ホタルのくる町(英訳付)	自由国民社	絵本
254	4-0環境16	エレナとダフニ(英訳付)	自由国民社	絵本
255	4-0環境17	森の暮らしの記憶(英訳付)	自由国民社	絵本
256	4-0環境18	「私たちのピン川」北タイ環境教育カリキュラム	開発教育協会	ブックレット
257	4-0環境19	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
258	4-0環境20	コミュニティー・エンパワーメント	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
259	4-0環境21	環境教育推進ハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
260	4-0環境22	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム(生徒用)	国際理解教育センター	ブックレット
261	4-0環境23	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム	国際理解教育センター	ブックレット
262	4-0環境24	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン	国際理解教育センター	ブックレット
263	4-0環境25①②	パーム油のはなし「地球にやさしい」ってなんだろう？	開発教育協会	ワークキット
264	4-0環境26	みみずのカーロ シェーファー先生の自然の学校	合同出版	書籍
265	4-0環境27	図解 地球の真実(別冊宝島 1397)	宝島社	書籍
266	4-0環境28	もっと話そう！エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法	開発教育協会	書籍
267	4-0環境29	パーム油の話「地球にやさしい」ってなんだろう？改訂版	開発教育協会	ワークキット

268	4-0環境30	水から広がる学び アクティビティ20	開発教育協会	ワークキット
269	4-0環境31	SDGsと環境教育	学文社	書籍
270	4-1環境1	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで	アジア太平洋資料センター	ビデオ
271	4-1環境2	緑の砂漠 植林が環境を破壊する	アジア太平洋資料センター	ビデオ
272	4-1環境3	切り売りされるタイ プーケット島の観光開発	アジア太平洋資料センター	ビデオ
273	4-1環境4	いつかこの木に見守られて タイ植林体験記	オイスカ	ビデオ
274	4-1環境5	緑の革命「あいのり」		ビデオ
275	4-1環境6	ペットボトルの水	アジア太平洋資料センター	DVD
276	4-1環境7	世界をめぐる電子ゴミ	アジア太平洋資料センター(PARC)	DVD
277	5-0人権1	識字BOX	国際識字年推進和泉連絡会	ワークキット・カルタ・ビデオ
278	5-0人権2	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム	国際理解教育センター	ブックレット
279	5-0人権3	いっしょに考えて！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編	国際理解教育センター	ブックレット
280	5-0人権4	いっしょにすすめよう！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編	国際理解教育センター	ブックレット
281	5-0人権5	人権教育のためのコンパス[羅針盤]	明石書店	書籍
282	5-0人権6	同和問題・人権問題学習教材(パート4) こうもりくん	滋賀県解放県民センター	ブックレット
283	5-0人権7	国際理解教育と人権	開放出版社	書籍
284	5-0人権8	プエノス・ディアス・ニッポン ～外国人が生きる「もうひとつの日本」～	ラティーナ	書籍
285	5-0人権9	知っていますか？ 死刑と人権 一問1答	解放出版社	書籍
286	5-0人権10	非核と先住民族の独立をめざして	現代人文社	ブックレット
287	5-0人権11	デカセギ 逆流する日系ブラジル人	草思社	書籍
288	5-0人権12	米軍に土地を奪われた沖縄人	新読書社	書籍
289	5-0人権13	ええぞ、カルロス	大阪市立総合生涯学習センター	絵本
290	5-0人権14	チョコレートから世界が見える人権を基盤にしたESD教材	ヒューライツ大阪	書籍
291	5-0人権15	『人権で世界を変える30の方法』(ヒューマンライツ・ナウ編)	合同出版	書籍
292	5-0人権16	あなたとわたしの幸せを築く世界人権宣言 世界人権宣言	世界人権宣言大阪連絡会議	ブックレット
293	5-0人権17	ヘイトスピーチとたたかう！	岩波書店	書籍
294	5-0人権18	人権教育指導資料集 人権教育を進めるために	長野県教育委員会	書籍
295	5-0人権19	地球市民の人権教育ー15歳からのレスンプラン	解放出版社	書籍
296	5-0人権20	多様性の学級づくり 人権教育アクティビティ集	解放出版社	書籍
297	5-0人権21	外国人はなぜ消防士になれないかー公的な国籍差別の撤廃に向けてー	田畑書店	書籍
298	5-0人権22	ちがいでキドキ多文化共生ナビ～在日外国人教育実践プラン集～	大阪府在日外国人教育研究協議会	書籍
299	5-0人権23	ダイバーシティ・トレーニング・ブック 多様性研修のてびき	解放出版社	書籍
300	5-1人権1	国際人権を知っていますか ～国連と市民のとりくみ～	ヒューライツ大阪	ビデオ
301	5-1人権2	自立をめざして ～アジアの女性とこどもたち～	ヒューライツ大阪	ビデオ
302	5-1人権3	日本の国際化と人権 ～違いを認めあう地域社会を～	ヒューライツ大阪	ビデオ
303	5-1人権4	女たちが語るインド	アジア太平洋資料センター	ビデオ
304	5-1人権5	もうひとつの戦争 インドの人口政策と女性たち	アジア太平洋資料センター	ビデオ
305	5-1人権6	映画ジャビルカ日本語版 私たちの電気がアボリジニの大地を壊す	アジア太平洋資料センター	ビデオ

306	5-1人権7	ミナ笑顔 37言語収録版DVD	ACCU	DVD
307	5-1人権8	DVD もうひとつのツーリズム「先住民族エコツアーの始動」NGO/NPOキャンペーンハンドブック	NPO法人さっぽろ自由学校「遊」	DVD
308	6-0英語教育1	JAPAN ALMANAC 2005 英和対訳データ年鑑	朝日新聞社	書籍
309	6-0英語教育2	公立小学校でやってみよう！ 英語	草木文化	書籍
310	6-0英語教育3	総合英語：地球市民として生きる	三修社	ブックレット
311	6-0英語教育4	英語で国際理解教育（CD付）小学1・2年版	小学館	書籍・CD
312	6-0英語教育5	英語で国際理解教育（CD付）小学3・4年版	小学館	書籍・CD
313	6-0英語教育6	英語で国際理解教育（CD付）小学5・6年版	小学館	書籍・CD
314	6-0英語教育7	小学校英語の授業プラン つくって調べる地球環境（CD付）	小学館	書籍・CD
315	6-0英語教育8	小学生の英会話活動 ～ゲームと歌あそび～	小学館	書籍
316	6-0英語教育9	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！人間について	金の星社	絵本
317	6-0英語教育10	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！平和について	金の星社	絵本
318	6-0英語教育11	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！環境について	金の星社	絵本
319	6-0英語教育12	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！いろいろな文化	金の星社	絵本
320	6-0英語教育13	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！世界の国々	金の星社	絵本
321	6-0英語教育14	えほんで楽しむ英語の世界	一声社	書籍
322	6-0英語教育15	アメリカの小学校ではこうやって英語を教えている	径書房	書籍
323	6-0英語教育16	CAN YOU FIND ME?	ACCU	絵本
324	6-0英語教育17	はじめての英語の歌—歌でおぼえるらくらくイングリッシュ	学研マーケティング	書籍
325	6-0英語教育18	ヘンリーおじさんの英語でレッスンができる本—ネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集	アルク	書籍
326	6-0英語教育19	小学校 テーマで学ぶ英語活動 BOOK1	三友社出版	書籍
327	6-0英語教育20	和の行事えほん Annual Events in Japan Spring & Summer	Ehon House	書籍
328	6-0英語教育21	和の行事えほん Annual Events in Japan Autumn & Winter	Ehon House	書籍
329	6-0英語教育22①	your world 英語テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
330	6-0英語教育22②	your world 英語テキスト 別売指導用CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
331	6-0英語教育23①	your world 国際理解テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
332	6-0英語教育23②	your world 国際理解テキスト 別売指導用CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
333	6-0英語教育24	チャレンジ！キッズ スピーチ 1 できるよ！はじめてのスピーチ	大月書店	書籍
334	6-0英語教育25	チャレンジ！キッズ スピーチ 2 平和をもとめた子どもたち	大月書店	書籍
335	6-0英語教育26	チャレンジ！キッズ スピーチ 3 子どもの権利をうたえる	大月書店	書籍
336	7-0多文化1	My name is… 世界にひとつだけの名前	角川書店	書籍
337	7-0多文化2	日本のなかの世界	新幹社	書籍
338	7-0多文化3	多文化共生のジレンマ	明石書店	書籍
339	7-0多文化4	多文化共生の学校づくり	明石書店	書籍
340	7-0多文化5	多文化共生のまちづくり	明石書店	書籍
341	7-0多文化6	多文化教育 多様性のための教育学	明石書店	書籍
342	7-0多文化7	幼児のための多文化理解教育	明石書店	書籍
343	7-0多文化8	多文化教育を拓く	明石書店	書籍
344	7-0多文化9	多文化・人権教育学校をつくる	明石書店	書籍

345	7-0多文化10	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた	雨森芳洲庵	かるた
346	7-0多文化11	歴史教科書 在日コリアンの歴史	明石書店	書籍
347	7-0多文化12	滋賀のなかの朝鮮	明石書店	書籍
348	7-0多文化13	外国人のためのお弁当(3ヶ国語:日・中・英語)	関西生命線	書籍
349	7-0多文化14	多文化共生保育Q&A	大阪保育子育て人権情報研究センター	ブックレット
350	7-0多文化15	アフリカ 理解ハンドブック -アフリカと私たち	アフリカ日本協議会	ブックレット
351	7-0多文化16	くらべてみよう! 日本と世界の 食べ物と文化	講談社	書籍
352	7-0多文化17	パパラギ	立風書房	絵本
353	7-0多文化18	世界のあいさつ	福音館書店	絵本
354	7-0多文化19	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ1 アフリカンドレス	明石書店	書籍
355	7-0多文化20	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ2 アフリカンキッチン	明石書店	書籍
356	7-0多文化21	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ3 アフリカンリビング	明石書店	書籍
357	7-0多文化22	たくさんのふしぎ傑作集 手で食べる?	福音館書店	絵本
358	7-0多文化23	たくさんのふしぎ傑作集 いっぽんの鉛筆のむこうに	福音館書店	絵本
359	7-0多文化24	世界のじゃんけん	今人舎	書籍
360	7-0多文化25	世界の外あそび	今人舎	書籍
361	7-0多文化26	韓国・朝鮮と出会おう	国土社	書籍
362	7-0多文化27	中国と出会おう	国土社	書籍
363	7-0多文化28	フィリピンと出会おう	国土社	書籍
364	7-0多文化29	ブラジルと出会おう	国土社	書籍
365	7-0多文化30	多文化子どもの歌集(CD付)	明石書店	ブックレット・CD
366	7-0多文化31	朝鮮をどう教えるか	解放出版社	書籍
367	7-0多文化32	オーストラリア発見(対訳本・ビデオ2本付)	豪日交流基金	ブックレット・ビデオ
368	7-0多文化33	いろんな国・いろんなことば 全6巻(ビデオ付)	ポプラ社	絵本・ビデオ
369	7-0多文化34	ワールドカップメモリーゲーム(2セット)	アンネさん作	ワークキット
370	7-0多文化35	ひょうたん島問題 ~多文化共生をめざして~(CD付)	デジタルマジック	ワークキット
371	7-0多文化36①②	ブラジルボックス	滋賀県国際協会	ワークキット
372	7-0多文化37①②	かるた“わたしん家の食事から”	滋賀県国際協会	ワークキット
373	7-0多文化38	多文化共生キーワード事典	明石書店	書籍
374	7-0多文化39	ニューカマーの子どもと学校文化	勁草書房	書籍
375	7-0多文化40	外国人の子どもと日本の教育	東京大学出版会	書籍
376	7-0多文化41	プエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」	ラティーナ	書籍
377	7-0多文化42	多文化保育論	学文社	書籍
378	7-0多文化43	乳幼児とその家族への早期支援	北大路書房	書籍
379	7-0多文化44	シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍
380	7-0多文化45	多文化共生社会と外国人コミュニティの力	現代人文社	書籍
381	7-0多文化46	顔の见えない定住化	名古屋大学出版会	書籍
382	7-0多文化47	「多文化パワー」社会ー多文化共生を超えて	明石書店	書籍
383	7-0多文化48	まんが クラスメイトは外国人 多文化共生20の物語	明石書店	書籍

384	7-0多文化49	世界あちこちゆかいな家めぐり	福音館書店	書籍
385	7-0多文化50	トイレのおかげ	福音館書店	書籍
386	7-0多文化51	絵本で育てる情報分析力	一声社	書籍
387	7-0多文化52	多文化共生社会の保育者ー ぶつかってもだいじょうぶ	北大路書房	書籍
388	7-0多文化53	異文化コミュニケーションー新・国際人への条件	有斐閣選書	書籍
389	7-0多文化54	絵本 世界の食事①<フランスのごはん>	農文協	書籍
390	7-0多文化55	絵本 世界の食事②<インドのごはん>	農文協	書籍
391	7-0多文化56	絵本 世界の食事③<韓国のごはん>	農文協	書籍
392	7-0多文化57	絵本 世界の食事④<イタリアのごはん>	農文協	書籍
393	7-0多文化58	絵本 世界の食事⑤<メキシコのごはん>	農文協	書籍
394	7-0多文化59	絵本 世界の食事⑥<ドイツのごはん>	農文協	書籍
395	7-0多文化60	絵本 世界の食事⑦<ブラジルのごはん>	農文協	書籍
396	7-0多文化61	絵本 世界の食事⑧<中国のごはん>	農文協	書籍
397	7-0多文化62	絵本 世界の食事⑨<タイのごはん>	農文協	書籍
398	7-0多文化63	絵本 世界の食事⑩<トルコのごはん>	農文協	書籍
399	7-0多文化64	絵本 世界の食事⑪<モンゴルのごはん>	農文協	書籍
400	7-0多文化65	絵本 世界の食事⑫<フィンランドのごはん>	農文協	書籍
401	7-0多文化66	絵本 世界の食事⑬<ベトナムのごはん>	農文協	書籍
402	7-0多文化67	絵本 世界の食事⑭<スペインのごはん>	農文協	書籍
403	7-0多文化68	絵本 世界の食事⑮<ペルーのごはん>	農文協	書籍
404	7-0多文化69	The World of Street Food Easy quick meals to cook at home	ニュー・インターナショナル・ジャパン	書籍
405	7-0多文化70	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
406	7-0多文化71	非識字体験ゲーム「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」	滋賀県国際協会	ワークキット
407	7-0多文化72	「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起こった?(震災編)	滋賀県国際協会	ワークキット
408	7-0多文化73	日本と世界のおもしろことわざ~ことわざで文化を比較しよう~ 第1巻 生きる知恵	学研教育出版	書籍
409	7-0多文化74	日本と世界のおもしろことわざ~ことわざで文化を比較しよう~ 第2巻 人情	学研教育出版	書籍
410	7-0多文化75	日本と世界のおもしろことわざ~ことわざで文化を比較しよう~ 第3巻 損得と運	学研教育出版	書籍
411	7-0多文化76	日本と世界のおもしろことわざ~ことわざで文化を比較しよう~ 第4巻 才能と経験	学研教育出版	書籍
412	7-0多文化77	日本と世界のおもしろことわざ~ことわざで文化を比較しよう~ 第5巻 世の中	学研教育出版	書籍
413	7-0多文化78	日本と世界のおもしろことわざ~ことわざで文化を比較しよう~ 第6巻 ことわざのいろいろ	学研教育出版	書籍
414	7-0多文化79	私も「移動する子ども」だった 異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー	くろしお出版	書籍
415	7-0多文化80	在日コリアン女性20人の軌跡	明石書店	書籍
416	7-0多文化81	ぐずぐず言わせて! わたしらの居場所「わたしのこと」シリーズ vol.2	(財)神奈川県国際交流協会	書籍
417	7-0多文化82	先住民族とESD	立教大学ESD研究センター	書籍
418	7-0多文化83	続・先住民族とESD	立教大学ESD研究センター	書籍
419	7-0多文化84	教材『CHAMPURREANDO~世界のウチナーンチュ発! 多文化共生』	NPO法人沖縄NGOセンター	教材セット
420	7-0多文化85	世界のウチナーンチュかるたチャンプレアンド 日本語+英語版	NPO法人沖縄NGOセンター	カルタ
421	7-0多文化86	3・11後の多文化家族	明石書店	書籍
422	7-0多文化87	外国にルーツを持つ子どもたち 思い・制度・展望	(財)アジア・太平洋人権情報センター	書籍

423	7-0多文化88	いつだって、そばにいるよ。	NTT出版	書籍
424	7-0多文化89	未来をつくる教育ESDー持続可能な多文化社会をめざして	明石書店	書籍
425	7-0多文化90	異文化間教育ー文化間移動と子どもの教育	明石書店	書籍
426	7-0多文化91	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば1 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本
427	7-0多文化92	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば2 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本
428	7-0多文化93	フィリピンかあちゃん奮闘記 in ジャパン	文化社	書籍
429	7-0多文化94	異文化理解入門	平凡社	書籍
430	7-0多文化95	外国人から見たニッポン	ディスカヴァー・トゥエンティワン	書籍
431	7-0多文化96	Playtime	Oxfam	英語絵本
432	7-0多文化97	Bicycles	Oxfam	英語絵本
433	7-0多文化98	Home	Oxfam	英語絵本
434	7-0多文化99	Our Animals	Oxfam	英語絵本
435	7-0多文化100	At School	Oxfam	英語絵本
436	7-0多文化101	ぼく、いいもの いっぱい～日本語で学ぶ子どもたち～	子どもの未来社	絵本
437	7-0多文化102	わたしが外人だったころ	福音館書店	絵本
438	7-0多文化103	ビビのアフリカ旅行	ポプラ社	書籍
439	7-0多文化104	まんがで学ぶ 世界の宗教	あさ出版	書籍
440	7-0多文化105	絵本で学ぶイスラームの暮らし	あすなろ書房	絵本
441	7-0多文化106	アラブから こんにちは 灼熱、イスラーム、魔人、子育てー未知なるアラブの生活事情	国書刊行会	書籍
442	7-0多文化107	アイ アム ジャパニーズ これがハーフ芸人の生きる道	ワニブックス	書籍
443	7-0多文化108	ハーフが美人なんて妄想ですから！！ 困った「純ジャパ」との闘いの日々	中央公論新社	書籍
444	7-0多文化109①②	わたしん家の食事から カードゲーム版	(公財)滋賀県国際協会	ワークキット
445	7-0多文化110	境界に生きる 暮らしの中の多文化共生	解放出版社	書籍
446	7-0多文化111	同級生は外国人!?①「どうしてルールが守れないの？」	汐文社	書籍
447	7-0多文化112	同級生は外国人!?②「どうして頭にスカーフを巻いているの？」	汐文社	書籍
448	7-0多文化113	同級生は外国人!?③「日本がきれいなのかな？」	汐文社	書籍
449	7-0多文化114	いのりー聖なる場所	光村教育図書	絵本
450	7-1多文化1	アニニョハシムニカ 素顔の韓国 サワデリカー ほほ笑みの国・タイ	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
451	7-1多文化2	スラムシアン インドネシアの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
452	7-1多文化3	マブハイ 陽気なフィリピンの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
453	7-1多文化4	となりに生きる外国人	アジア太平洋資料センター	ビデオ
454	7-1多文化5	国際理解 はじめの一步 インドネシア・バリ島編	インドネシア教育振興会	CD
455	7-1多文化6	Ciranda,Cirandinha	多文化共生センター	CD
456	7-1多文化7	孤独なツバメたち～デカセキの子供に生まれて～	TOブックス	DVD
457	7-1多文化8	ナニジン？ートモダチ作戦ー	(公財)とよなか国際交流協会	DVD
458	7-1多文化9	こんばんは 墨田区立文花中学校夜間学級	「こんばんは」全国上映	
459	8-0写真1	百年の愚行	紀伊国屋書店	書籍
460	8-0写真2	「ゴミと宝石」 フィリピン、スモーキーマウンテンの子供たち	第三書館	書籍
461	8-0写真3	イラクに生きる I love Iraq	国土社	書籍

462	8-0写真4	INDIA Fairs&Festivals	学研	書籍
463	8-0写真5	Who? 報道されないアフガンの素顔	平和出版	書籍
464	8-0写真6	地球の仲間たち フォトランゲージ アメリカ合衆国	開発教育を考える会	ワークキット
465	8-0写真7	地球の仲間たち フォトランゲージ エクアドル	開発教育を考える会	ワークキット
466	8-0写真8	地球の仲間たち フォトランゲージ エチオピア	開発教育を考える会	ワークキット
467	8-0写真9	地球の仲間たち フォトランゲージ ガーナ	開発教育を考える会	ワークキット
468	8-0写真10	地球の仲間たち フォトランゲージ コートジボアール	開発教育を考える会	ワークキット
469	8-0写真11	地球の仲間たち フォトランゲージ コスタリカ	開発教育を考える会	ワークキット
470	8-0写真12	地球の仲間たち フォトランゲージ コロンビア	開発教育を考える会	ワークキット
471	8-0写真13	地球の仲間たち フォトランゲージ スリランカ	開発教育を考える会	ワークキット
472	8-0写真14	地球の仲間たち フォトランゲージ 中国	開発教育を考える会	ワークキット
473	8-0写真15	地球の仲間たち フォトランゲージ ニカラグア	開発教育を考える会	ワークキット
474	8-0写真16	地球の仲間たち フォトランゲージ ニジェール	開発教育を考える会	ワークキット
475	8-0写真17	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール(ニッキー)	開発教育を考える会	ワークキット
476	8-0写真18	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール(プラサンタ)	開発教育を考える会	ワークキット
477	8-0写真19	地球の仲間たち フォトランゲージ ハンガリー	開発教育を考える会	ワークキット
478	8-0写真20	地球の仲間たち フォトランゲージ パキスタン	開発教育を考える会	ワークキット
479	8-0写真21	地球の仲間たち フォトランゲージ パヌアツ	開発教育を考える会	ワークキット
480	8-0写真22	地球の仲間たち フォトランゲージ パプアニューギニア	開発教育を考える会	ワークキット
481	8-0写真23	地球の仲間たち フォトランゲージ パラグアイ	開発教育を考える会	ワークキット
482	8-0写真24	地球の仲間たち フォトランゲージ ブルガリア	開発教育を考える会	ワークキット
483	8-0写真25	地球の仲間たち フォトランゲージ ホンジュラス	開発教育を考える会	ワークキット
484	8-0写真26	地球の仲間たち フォトランゲージ ボツワナ	開発教育を考える会	ワークキット
485	8-0写真27	地球の仲間たち フォトランゲージ ボリビア	開発教育を考える会	ワークキット
486	8-0写真28	地球の仲間たち フォトランゲージ モルディブ	開発教育を考える会	ワークキット
487	8-0写真29	地球の仲間たち フォトランゲージ ラオス	開発教育を考える会	ワークキット
488	8-0写真30	地球の仲間たち フォトランゲージ ヨルダン	開発教育を考える会	ワークキット
489	8-0写真31	地球家族	TOTO出版	写真書籍
490	8-0写真32	続地球家族	TOTO出版	写真書籍
491	8-0写真33	地球の食卓	TOTO出版	写真書籍
492	8-0写真34	祝祭 世界の祭り・民族・文化	クレオ	写真書籍
493	8-0写真35	地球人記	福音館書店	写真書籍
494	8-0写真36	地球人生活記	福音館書店	写真書籍
495	8-0写真37	地球家族フォトランゲージ版	国際理解教育センター	写真
496	8-0写真38①②	地球家族フォトランゲージ版(A4版)	国際理解教育センター	写真
497	8-0写真39	地球家族フォトランゲージ版(A3版)	国際理解教育センター	写真
498	8-0写真40	地球の食卓フォトランゲージ(B4版)	国際理解教育センター	写真
499	8-0写真41	MONO変身図鑑	JICA	写真、CD
500	8-0写真42	写真集「ギフト」 GIFT to children of Angkor	マガジンハウス	書籍

501	8-0写真43	地球の仲間たち CD-Rom版	開発教育を考える会	CD
502	8-0写真44①②	写真で学ぼう！ 地球の食卓 学習プラン10	開発教育協会	写真、解説書
503	8-0写真45	地球のごはん 世界30カ国80人のいただきます	TOTO出版	写真書籍
504	8-0写真46	トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録	小学館	写真書籍
505	8-0写真47	食べもの記—EATING ON EARTH	福音館書店	写真書籍
506	9-0メディア1	ニュースに耳を傾ける ブローバル・エクスプレス第1号	開発教育協会	ブックレット
507	9-0メディア2	攻撃を超えて ブローバル・エクスプレス第2号	開発教育協会	ブックレット
508	9-0メディア3	難民 ブローバル・エクスプレス第3号	開発教育協会	ブックレット
509	9-0メディア4	イラク グローバル・エクスプレス第4号	開発教育協会	ブックレット
510	9-0メディア5	戦争報道 ブローバル・エクスプレス第5号	開発教育協会	ブックレット
511	9-0メディア6	メディア・リテラシー【入門編】	リベルタ出版	書籍
512	9-0メディア7	NIE ワークシート 100例	晩成書房	書籍
513	9-0メディア8	時事問題を教室へグローバルエクスプレス(無料ダウンロード版)	開発教育協会	
514	10-0子ども1	アジアの子ども	明石書店	書籍
515	10-0子ども2	シエラレオネ 5歳まで生きられない子どもたち	アートン	書籍
516	10-0子ども3	こどもの権利を買わないで-ブンとミーチャのものがたり(英訳付)	自由国民社	絵本
517	10-0子ども4	「日本の子どもは何をして働いているの？」	国際子ども権利センター	絵本
518	10-0子ども5	世界の子どもたち NGOの現場から	明石書店	書籍
519	10-0子ども6	ロサーリオの死 -少女の残したもの-	日本ユニセフ協会	書籍
520	10-0子ども7	子ども地球白書2002-2003	朔北社	書籍
521	10-0子ども8	児童の権利に関する条約	外務省	ブックレット
522	10-0子ども9	世界の子どもたちに今おきていること	日本ユニセフ協会	書籍
523	10-0子ども10	多発する少女買春 子どもを買う男たち	新評論	書籍
524	10-0子ども11	子どもたちのアフリカ	岩波書店	書籍
525	10-0子ども12	「ストリートチルドレン・100人の子どもたち」教材パッケージ(ビデオ2本付)	シャプラニール	ワークキット・ビデオ
526	10-0子ども13	わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて	ACE	書籍
527	10-0子ども14	ワークショップ『大切なものは何ですか?』～こどもたちがうつしたカンボジアの今	エデュケーショナル・サポート・センター(Edu)	ワークキット
528	10-0子ども15	スクールセクシャルハラスメント	国際子ども権利センター	書籍
529	10-0子ども16	子どもの権利条約カードとユニセフポスターセット		ワークキット
530	10-0子ども17	おいしいチョコレートの真実～働く子どもたちとわたしたちとのつながり～	ACE	ワークキット
531	10-0子ども18	もたないばあさんと考えよう世界のこと	講談社	書籍
532	10-0子ども19	ぼくら地球市民1 戦争なんてもうやめて	大月書店	書籍
533	10-0子ども20	ぼくら地球市民2 キッズパワーが世界を変える	大月書店	書籍
534	10-0子ども21	ぼくら地球市民3 わたしと地球の約束	大月書店	書籍
535	10-0子ども22	どこにいるかわかる？	こぐま社	絵本
536	10-0子ども23	世界の子どもたちは今ー子ども兵士	リブリオ出版	書籍
537	10-0子ども24	世界の子どもたちは今ー児童労働	リブリオ出版	書籍
538	10-0子ども25	世界の子どもたちは今ー子どもの人身売買	リブリオ出版	書籍
539	10-0子ども26	『ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。——私には何ができますか？ その悲しみがなくなる日を夢見て』	合同出版	書籍

540	10-0子ども27	子どもの参加を促すガイド	inne	書籍
541	10-0子ども28	貧しい国で女の子として生きるということ 開発途上国からの5つの物語	遊タイム出版	書籍
542	10-0子ども29	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2011 女の子と女性の教育	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局	ワークキット
543	10-0子ども30	おかえり、またあえたね ストリートチルドレン・トのものがたり	東京書籍	書籍
544	10-0子ども31	ダイヤモンドより平和がほしいー子ども兵士・ムリアの告白	汐文社	書籍
545	10-0子ども32	このTシャツはどこからくるの？-ファッションの裏側になる児童労働の真実-	(特活)ACE	ワークキット
546	10-0子ども33	わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。	合同出版	書籍
547	10-0子ども34	ぼくがラーメン たべてるとき	教育画劇	絵本
548	10-1子ども1	I am child! 働かされる子供たち	ILO	ビデオ
549	10-1子ども2	STOP CHILD LABOUR	ILO	ビデオ
550	11-0地図1	くらべてわかる世界地図① 暴力の世界地図	大月書店	書籍
551	11-0地図2	くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図	大月書店	書籍
552	11-0地図3	くらべてわかる世界地図③ ジェンダーの世界地図	大月書店	書籍
553	11-0地図4	くらべてわかる世界地図④ 福祉の世界地図	大月書店	書籍
554	11-0地図5	くらべてわかる世界地図⑤ 文化の世界地図	大月書店	書籍
555	11-0地図6	ワールドバンクミニアトラス	シュプリンガー・フェアラク東京	書籍
556	11-0地図7	食料の世界地図	丸善	書籍
557	11-0地図8	NHKスペシャル データマップ63億人の地図 いのちの地図帳	アスコム	書籍
558	11-0地図9①②	No Longer Down Under	Hallifax	地図
559	11-0地図10	世界がみえる 地図の絵本	あすなろ書房	絵本
560	11-0地図11①②	Mapping our World	Oxfam	ブックレット
561	11-0地図12	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2003年版	成美堂出版	書籍
562	11-0地図13	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2005年版	成美堂出版	書籍
563	11-0地図14	今がわかる 時代がわかる 日本地図 2005年版	成美堂出版	書籍
564	11-0地図15	Hunger Map もう一枚の世界地図	国際連合世界食糧計画	ブックレット
565	11-0地図16	Hunger Map ハンガーマップ	国際連合世界食糧計画	ワークキット
566	11-0地図17	イエティを探せ	ゆまに書房	絵本
567	11-0地図18	ピーター図マップ	Oxfam	地図
568	11-0地図19	世界地図(アフリカ中心)		地図
569	11-0地図20	<文化の世界地図> 大型地図	グローバルみらい塾	地図
570	11-0地図21	<文化の世界地図> 解説冊子	グローバルみらい塾	冊子
571	11-0地図22	EARTH at NIGHT 宇宙から見た夜の地球授業指導例 (ポスター) 指導書付き	エネルギー教育全国協議会事務局	地図
572	11-0地図23	MAPS 新・世界地図	徳間書店	地図
573	12-0国際協力1①②③	JICA フォトランゲージキット	国際協力事業団	ワークキット
574	12-0国際協力2	いま私たちにできること	国際協力事業団	ブックレット
575	12-0国際協力3①②	ミレニアム開発目標 とともに生きる地球市民	外務省	ブックレット
576	12-0国際協力4	人口問題 ブリーフィング・キット2001	アジア人口・開発協会	ブックレット
577	12-0国際協力5	世界人口白書2002 人々・貧困・ひろがる可能性	アジア人口・開発協会	ブックレット
578	12-0国際協力6	世界子供白書2003	ユニセフ	ブックレット

579	12-0国際協力7	世界子供白書2004	ユニセフ	ブックレット
580	12-0国際協力8	世界子供白書2005 危機に晒される子どもたち	ユニセフ	ブックレット
581	12-0国際協力9	世界子供白書2006 存在しない子どもたち	ユニセフ	ブックレット
582	12-0国際協力10①②	開発のための教育	ユニセフ	ブックレット
583	12-0国際協力11①②	地球のともだち ユニセフワークブック	ユニセフ	ブックレット
584	12-0国際協力12①②	「総合的な学習の時間」とユニセフ	ユニセフ	ブックレット
585	12-0国際協力13	わたしの権利 みんなの権利	ユニセフ	ブックレット
586	12-0国際協力14①②	子どもの権利条約 カードブック	ユニセフ	ブックレット
587	12-0国際協力15①②	ユニセフと世界のともだち	ユニセフ	ブックレット
588	12-0国際協力16①②	国際理解カード	国際協力推進協会	ワークキット
589	12-0国際協力17	学校と地域がつくる国際理解教育	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
590	12-0国際協力18	学校と地域がつくる国際理解教育 NGO編	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
591	12-0国際協力19	授業に役立つ総合学習の手引き 平成11年度高校教師海外研修に参加して	国際協力事業団	ブックレット
592	12-0国際協力20	国際理解教育の手引き 先生が見てきた国際協力の舞台 H12中学校	国際協力事業団	ブックレット
593	12-0国際協力21	国際理解教育の手引き 地球を枕に夢を見よう H12高校	国際協力事業団	ブックレット
594	12-0国際協力22	国際理解教育の手引き H13高校	国際協力事業団	ブックレット
595	12-0国際協力23	国際理解教育の手引き H13中学校	国際協力事業団	ブックレット
596	12-0国際協力24	国際理解教育の手引き H14高校	国際協力事業団	ブックレット
597	12-0国際協力25	国際理解教育の手引き H15小学校	国際協力事業団	ブックレット
598	12-0国際協力26	協力隊体験を伝えよう2 生きる力を育てるワークショップ集	青年海外協力協会	ブックレット
599	12-0国際協力27	国連ってなあに？	国連広報センター	ブックレット
600	12-0国際協力28	みんなの国連	国連広報センター	ブックレット
601	12-0国際協力29	いっしょにやろうよ 国際ボランティアNGOガイドブック	三省堂	書籍
602	12-0国際協力30	市民参加で世界を変える	朝日新聞社	書籍
603	12-0国際協力31	せかいじゅうにおともだちをつくろう	国際協力推進協会	紙芝居
604	12-0国際協力32	食べものから世界が見える、どこからきたの？	国際協力推進協会	紙芝居
605	12-0国際協力33	ごはんのこしていいの？	国際協力推進協会	紙芝居
606	12-0国際協力34	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本	開発教育協会	書籍
607	12-0国際協力35	国際協力と開発教育－「援助」の近未来を探る	明石書店	書籍
608	12-0国際協力36	「国際協力」をやってみませんか？仕事として、ボランティアで、普段の生活でも	小学館	書籍
609	13-0韓国文化1	一目で見る韓国	太田次郎社	絵本(ハングル)
610	13-0韓国文化2	壇君神話	太田次郎社	絵本(ハングル)
611	13-0韓国文化3	一目で見る韓国の歴史	太田次郎社	絵本(ハングル)
612	13-0韓国文化4	高句麗への旅	太田次郎社	絵本(ハングル)
613	13-0韓国文化5	韓国の伝統(的生活)	太田次郎社	絵本(韓英)
614	13-0韓国文化6	韓国の遊び	太田次郎社	絵本(韓英)
615	13-0韓国文化7	韓国のシンボル	太田次郎社	絵本(韓英)
616	13-0韓国文化8	韓国の礼儀と風習	太田次郎社	絵本(韓英)
617	13-0韓国文化9	韓国へ行こう！	太田次郎社	絵本(韓英)

618	13-0韓国文化10	ソウルへ行こう！	太郎次郎社	絵本(韓英)
619	13-0韓国文化11	栗谷李珥	太郎次郎社	絵本(ハングル)
620	13-0韓国文化12	世宗大王	太郎次郎社	絵本(ハングル)
621	13-0韓国文化13	李舜臣	太郎次郎社	絵本(ハングル)
622	13-0韓国文化14	安重根	太郎次郎社	絵本(ハングル)
623	13-0韓国文化15	柳順寛	太郎次郎社	絵本(ハングル)
624	13-0韓国文化16	金九	太郎次郎社	絵本(ハングル)
625	13-0韓国文化17	興夫と懶夫	太郎次郎社	絵本(ハングル)
626	13-0韓国文化18	お日さまとお月さま	太郎次郎社	絵本(ハングル)
627	13-0韓国文化19	青大将ソンビ	太郎次郎社	絵本(ハングル)
628	13-0韓国文化20	孝行娘沈清	太郎次郎社	絵本(ハングル)
629	13-0韓国文化21	あずき粥婆さんと虎	太郎次郎社	絵本(ハングル)
630	13-0韓国文化22	一粒の粟で結婚した男	太郎次郎社	絵本(ハングル)
631	13-0韓国文化23	五人の力士(力持ち)	太郎次郎社	絵本(ハングル)
632	13-0韓国文化24	新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島100年の明日	彩流社	書籍
633	13-0韓国文化24	ユンノリ物語	太郎次郎社	絵本(ハングル)
634	13-1韓国文化1	韓国朝鮮のあいさつの言葉	太郎次郎社	パネル＊
635	13-1韓国文化2	韓国朝鮮の親族呼称	太郎次郎社	パネル＊
636	13-1韓国文化3	韓国朝鮮料理	太郎次郎社	パネル＊
637	13-1韓国文化4	民族衣装と紐の結び方	太郎次郎社	パネル
638	13-1韓国文化5	初誕生日の服と婚礼服	太郎次郎社	パネル
639	13-1韓国文化6	千字文	太郎次郎社	パネル＊
640	13-1韓国文化7	ハングル	太郎次郎社	パネル＊
641	13-1韓国文化8	ウリナラ旅行図と半島図	太郎次郎社	パネル＊
642	13-1韓国文化9	生活案内標示・交通安全標識	太郎次郎社	パネル＊
643	13-1韓国文化10	不思議な体	太郎次郎社	パネル＊
644	13-1韓国文化11	図形	太郎次郎社	パネル
645	13-1韓国文化12	色	太郎次郎社	パネル
646	13-1韓国文化13	数字	太郎次郎社	パネル＊
647	13-1韓国文化14	動物	太郎次郎社	パネル＊
648	13-1韓国文化15	果物・野菜	太郎次郎社	パネル＊
649	14-0移民1	カリナのブラジルとニッポン	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居
650	14-0移民2	弁当からミックスプレートへ	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居
651	14-0移民3	ハワイにわたった日系移民	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居
652	14-0移民4	海を渡った日本人	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居
653	14-0移民5	移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ
654	14-0移民6	目で見えるブラジル日本移民の百年	風響社	写真集
655	14-0移民7	日本・ブラジル 移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ



分科会1 外国人ゲストを招いた授業の提案①
言葉がわからない体験ゲーム『何が起こった？(震災編)』



分科会2 「国際理解教育」ってなんだろう
(JICA 教師海外研修授業実践報告)



分科会3 外国人ゲストを招いた授業の提案②
『ここは何色？』一身近な色から文化・歴史を考えようー



分科会4 イメージを通じた異文化理解～ケニアの子どもたちのケニア・日本のイメージ～